

2022年3月期第2四半期決算

決算説明会資料（2021年11月30日）

Contents

Chapter 01	信和とは	Chapter 07	2022年3月期 第2四半期 決算概要
Chapter 02	第1の柱 仮設資材部門	Chapter 08	2022年3月期 業績見通し
Chapter 03	システム足場とは	Chapter 09	株主還元
Chapter 04	国内屈指の生産力と 競争力の強い製造原価		
Chapter 05	第2の柱 物流機器部門		
Chapter 06	第3の柱 海外展開		

| Chapter 01 |

信和とは

SHINWA CO.,LTD.

仮設資材の リーディングカンパニー

システム足場で
国内トップシェア

国内屈指の生産力による
高い対応力と品質

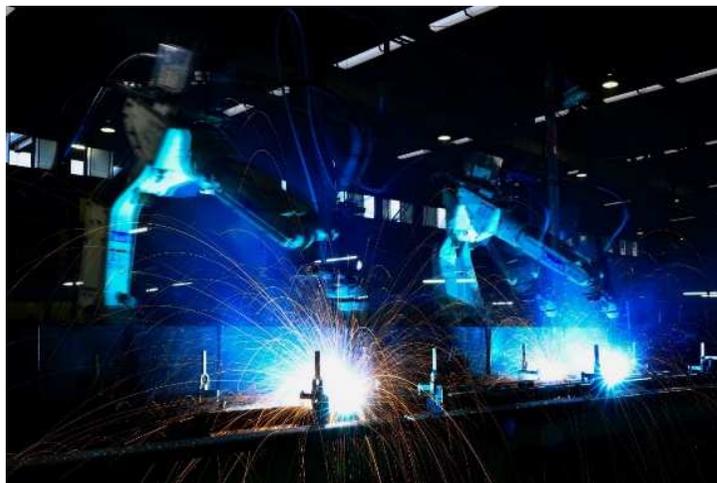
※システム足場は、くさび緊結式足場と次世代足場の総称

会社概要



社名	信和株式会社
本社	〒503-0311 岐阜県海津市平田町仏師川30-7
代表者	代表取締役社長 則武 栗夫
創業	1977年9月
設立	1979年8月
資本金	153百万円
従業員数	174名 (※)
証券コード	3447
発行済株式総数	14,103,000株

(※) 嘱託社員・パート社員を含む



- 1977年 社名を「信和商店」として事業を開始
- 1978年 仮設機材「ジャッキベース」の製造を開始
- 1988年 システム足場市場に進出
- 2003年 物流機器部門を設立
- 2016年 次世代足場「SPS」の製造・販売開始
- 2017年 海外製造・販売を開始
- 2018年 東証2部・名証2部に株式を上場
- 2019年 東証1部・名証1部へ指定替え
中国に広東日信創富建築新材有限公司を設立

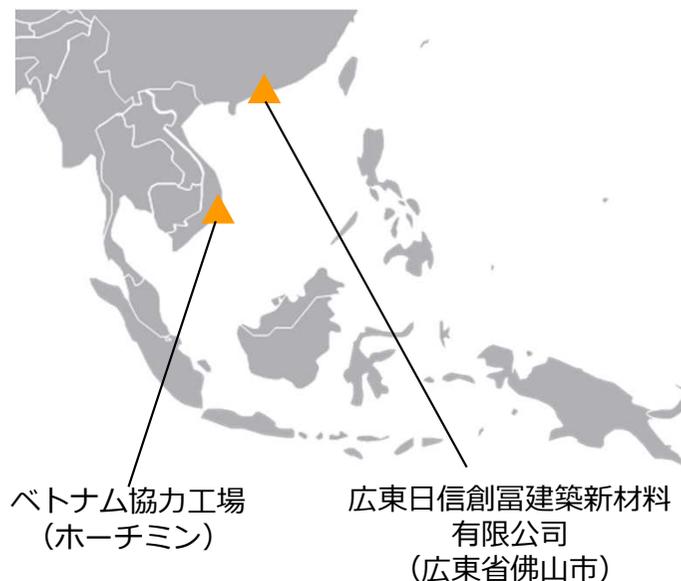
拠点展開

日本国内に11拠点、海外に2拠点を展開

国内拠点



海外拠点



- …営業拠点
国内6ヶ所
- ▲ …機材センター
国内5ヶ所
- ▲ …生産拠点
国内1ヶ所・海外2ヶ所

事業構成

システム足場の製造・販売を中心とした「仮設資材部門」が売上収益の柱

仮設資材部門

建設現場などで使用される仮設設資材の製造・販売・レンタル



大規模倉庫屋根成形工事



新東名高速道路橋脚工事

物流機器部門

工場、倉庫、建設現場等における物品の保管・搬送等に使用される物流機器の製造・販売



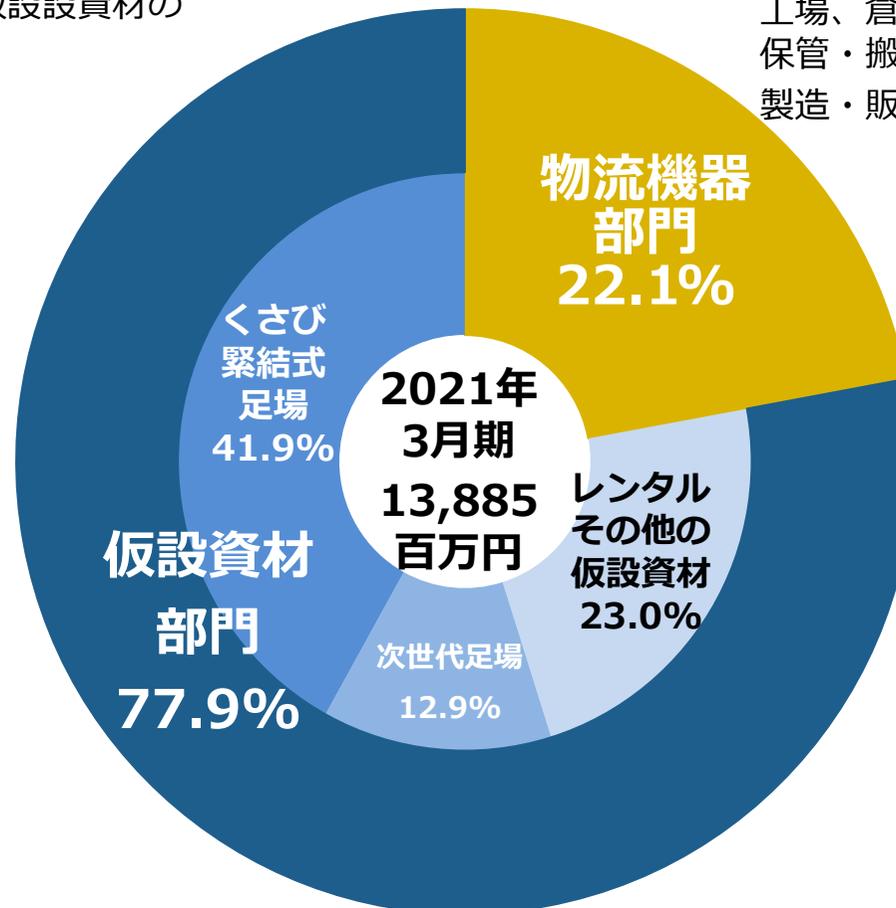
液体搬送用バルクコンテナケージ



自動車部品用パレット



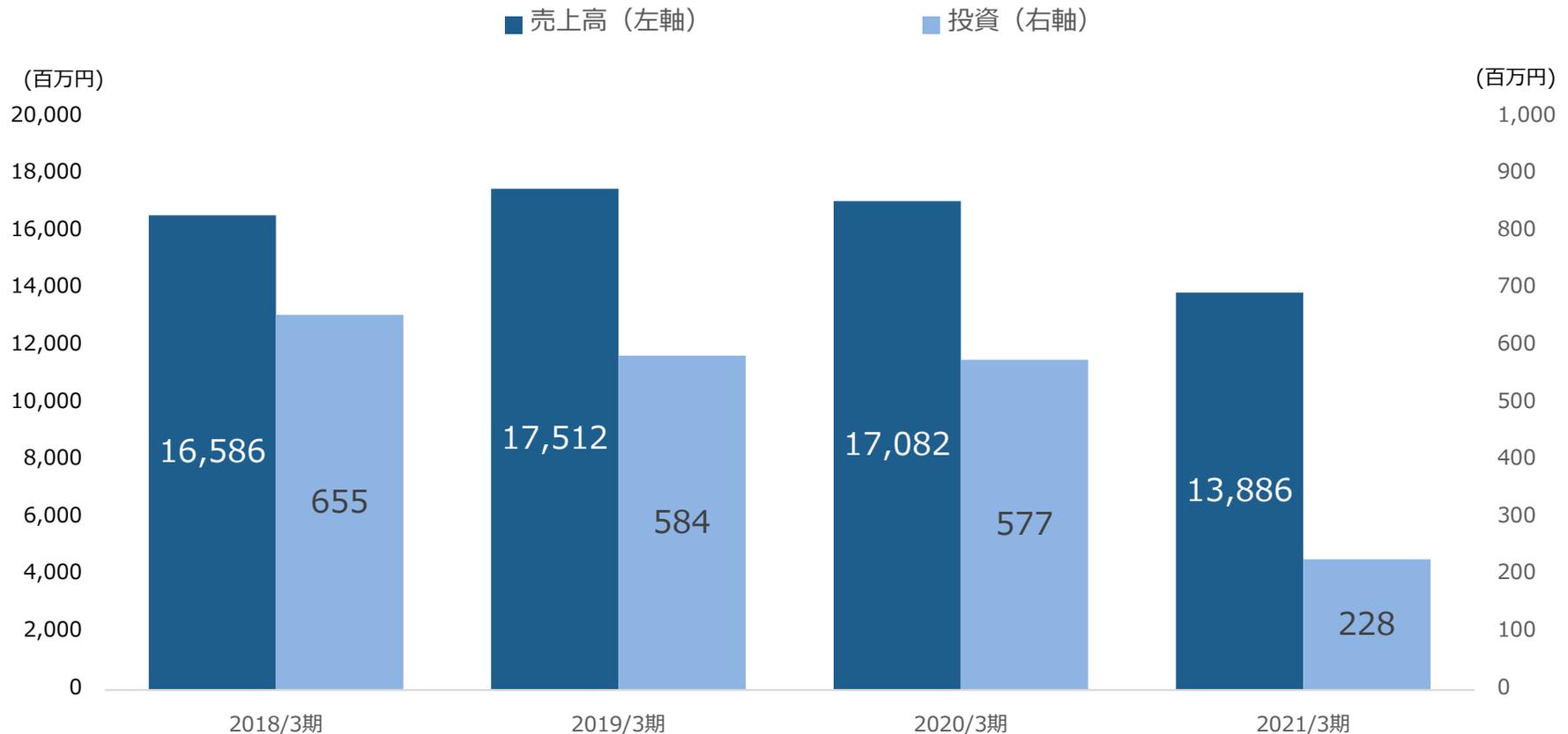
大規模倉庫用ラック



事業推移と成長投資

製造に関する投資は株式上場前に実施済み。
2021年3月期は新型コロナウイルス感染症の影響で投資を抑制。

売上収益と設備投資の推移



第1の柱 仮設資材部門

「仮設資材」の分類

仮設資材は「軽仮設資材」と「重仮設資材」に大別される
当社は軽仮設資材のうち“足場”の製造・販売を行う

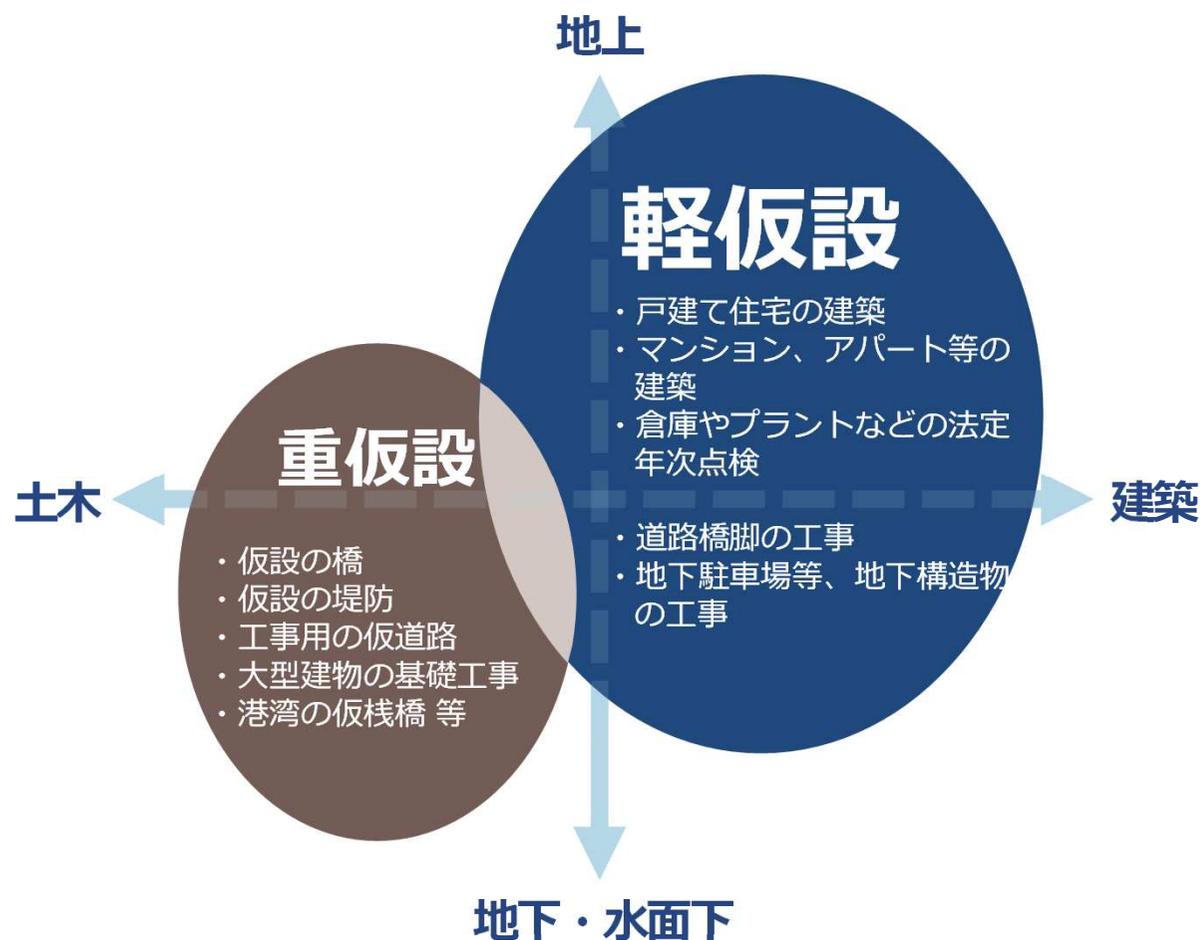
軽仮設資材

- 主に地上建築物の工事に使用されるが、土木分野や地下工事でも幅広く活躍。
- 主に高所作業者のための資材
- 人力で運搬可能、高い汎用性を持つ

重仮設資材

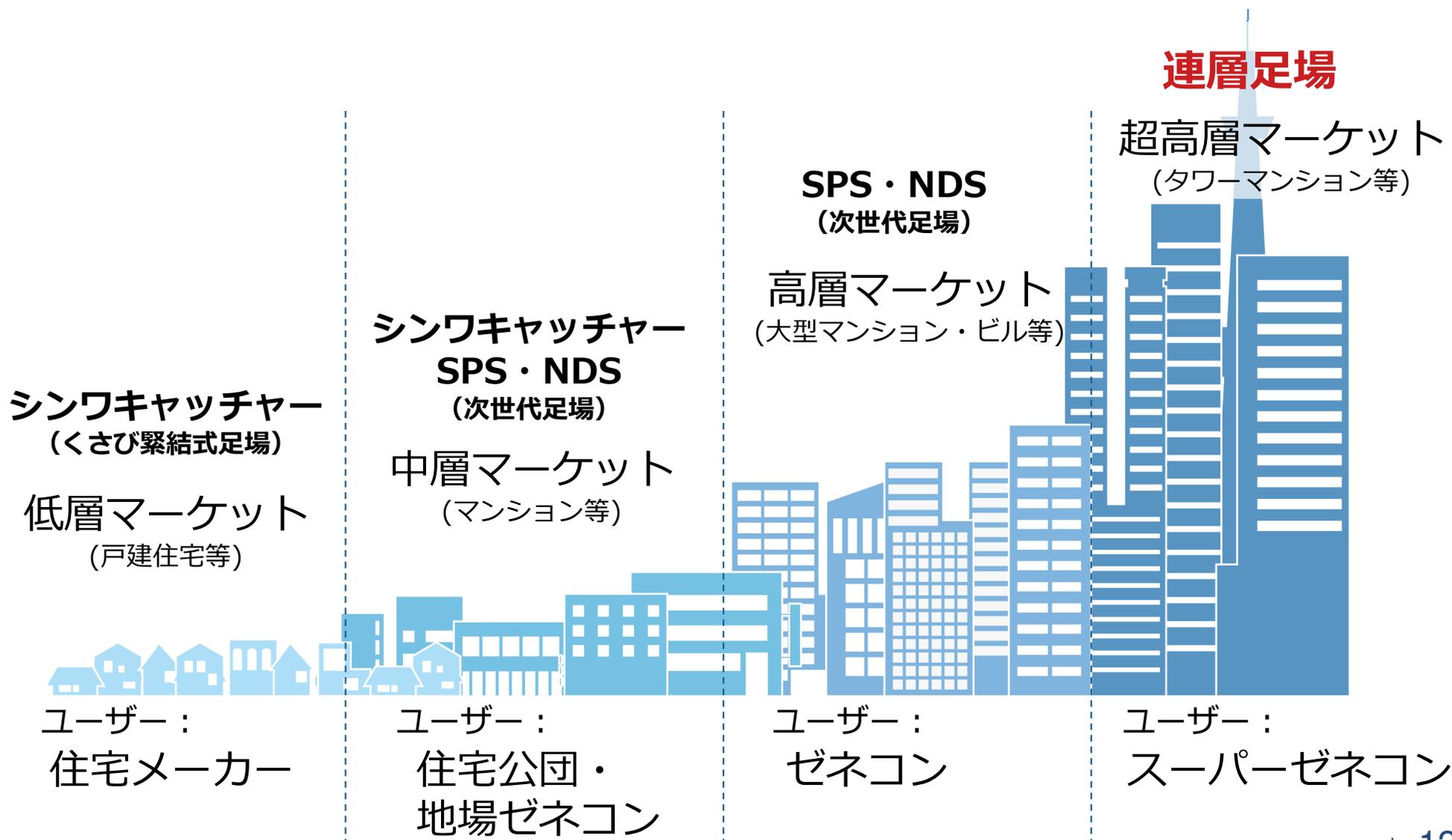
- 主に土木分野や地下の工事に使用
- 工事用重機の作業や土圧・水圧に耐える大がかりな資材
- 設置には重機が必須、特殊性・専門性が高い資材

軽仮設資材・重仮設資材の使用場面



足場市場における独自のポジショニング

低層向けから超高層向けへ、あらゆるマーケットへ製品を供給できる唯一の企業



システム足場とは

住宅工事（低層）



物流倉庫新築工事（中層）



大規模マンション修繕工事（高層）



超高層マンション現場（超高層）



プラントメンテナンス工事





道路新設・補修工事



システム足場とは『建設現場になくてもならないもの』



SHINWA CO.,LTD.

システム足場
販売シェア
No.1

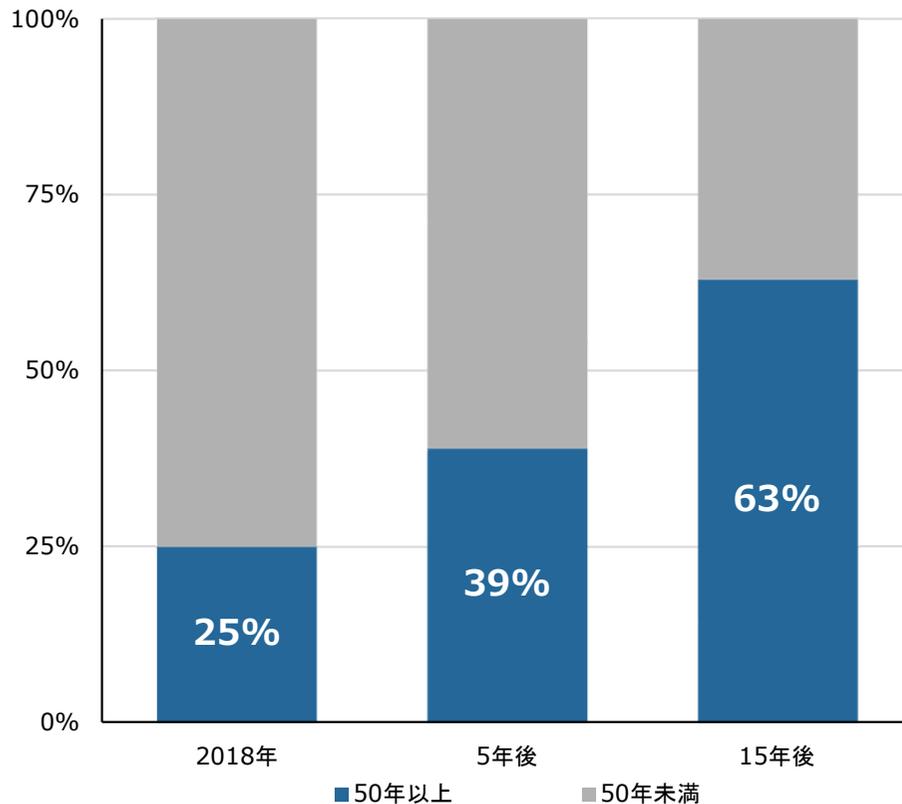
出荷金額ベース・自社調査（2019年調べ）

仮設資材部門の事業環境

インフラの戦略的な維持管理・更新等の推進

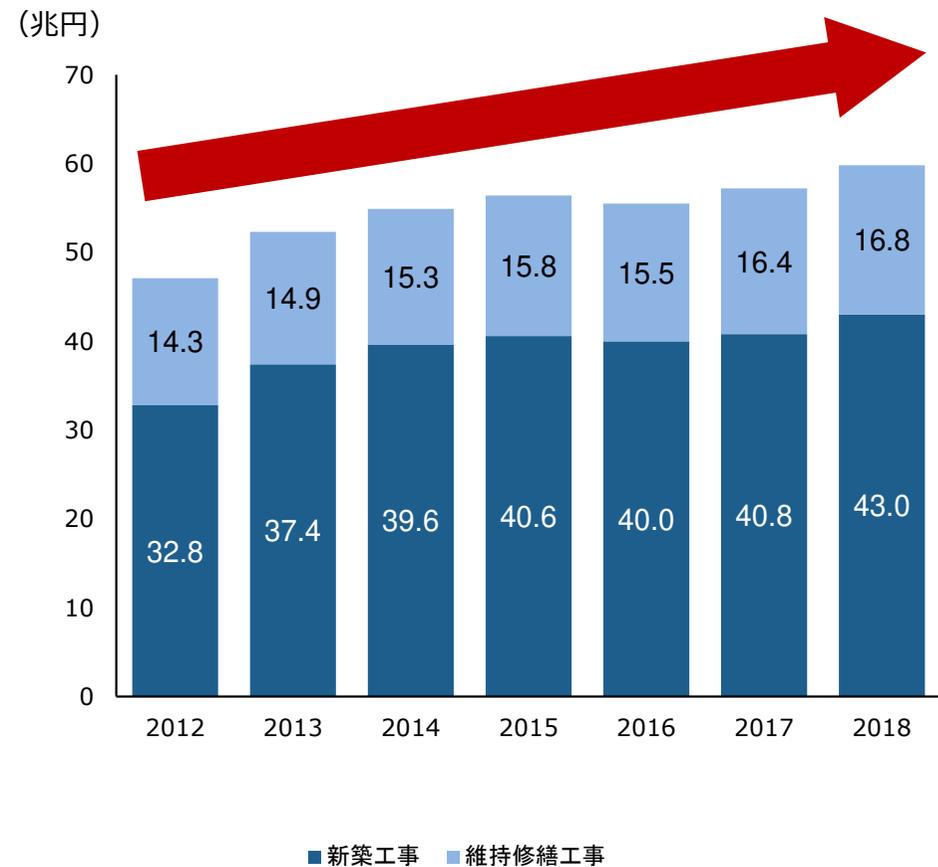
建設後50年以上経過する社会資本の割合

道路橋 [約40万橋※ (橋長2m以上の橋約70万橋のうち)]
2033年には約25万橋が建設後50年以上経過に



※建設年度不明橋梁の約30万橋については、割合の算出にあたり除いている
出典：一般社団法人日本建設業連合会「建設業ハンドブック2019」より

建設投資：新設工事と維持修繕工事の推移



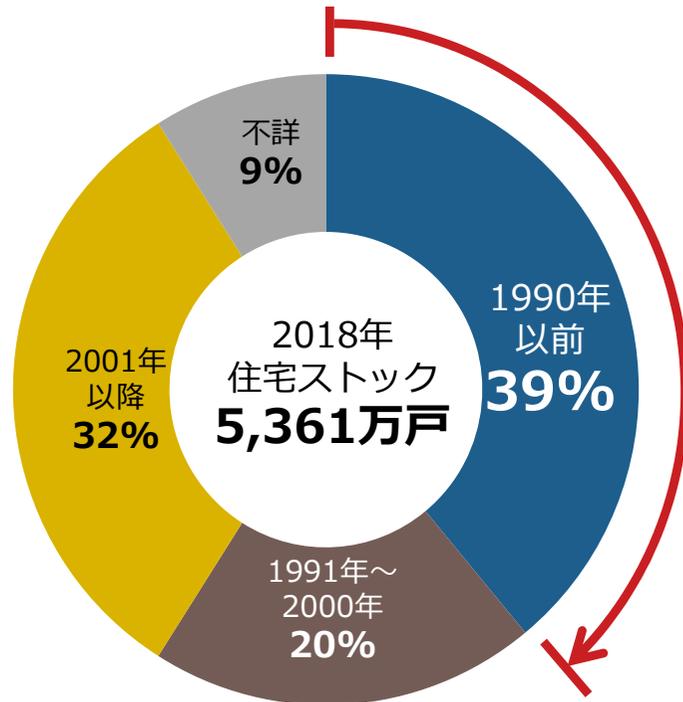
出典：一般社団法人日本建設業連合会「建設業ハンドブック2020」より

仮設資材部門の事業環境

建設後30年以上を迎えた住宅のリフォーム需要の拡大が見込まれる

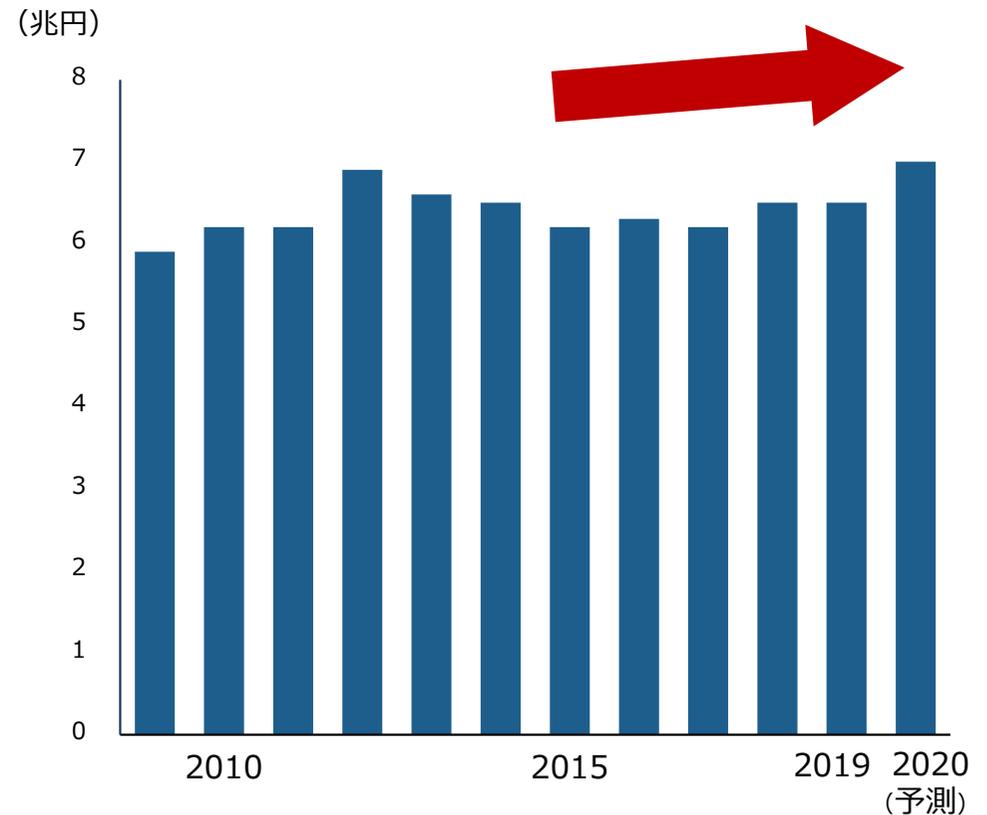
建築時期別 居住世帯のある住宅数

1990年以前に建築された住宅が
39% (2,090万戸) を占める



出典：総務省「平成30年住宅・土地統計調査」より

住宅リフォーム市場の市場規模予測

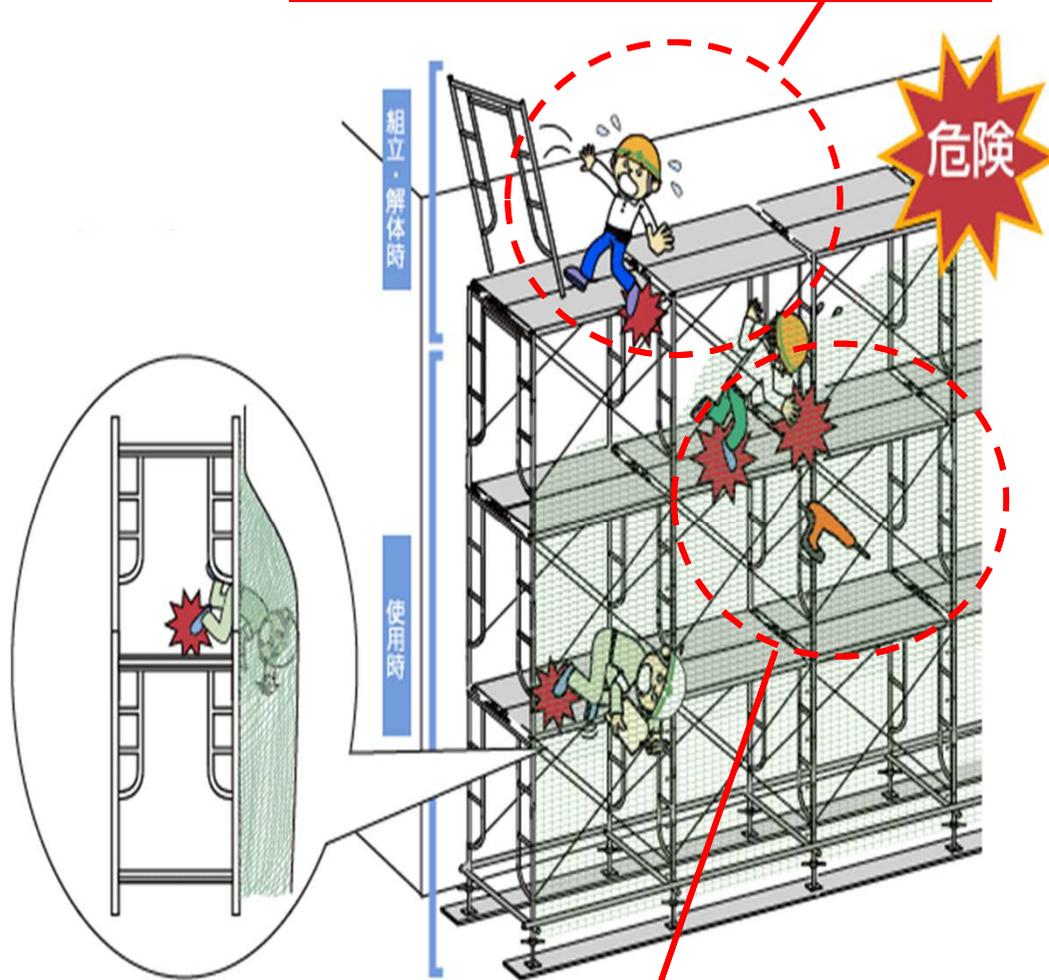


出典：国土交通省「建築着工統計調査」、総務省「家計調査年報」、総務省「住民基本台帳」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）」をもとに矢野経済研究所推計（2021年9月27日推計）

建設現場で起こる労働災害

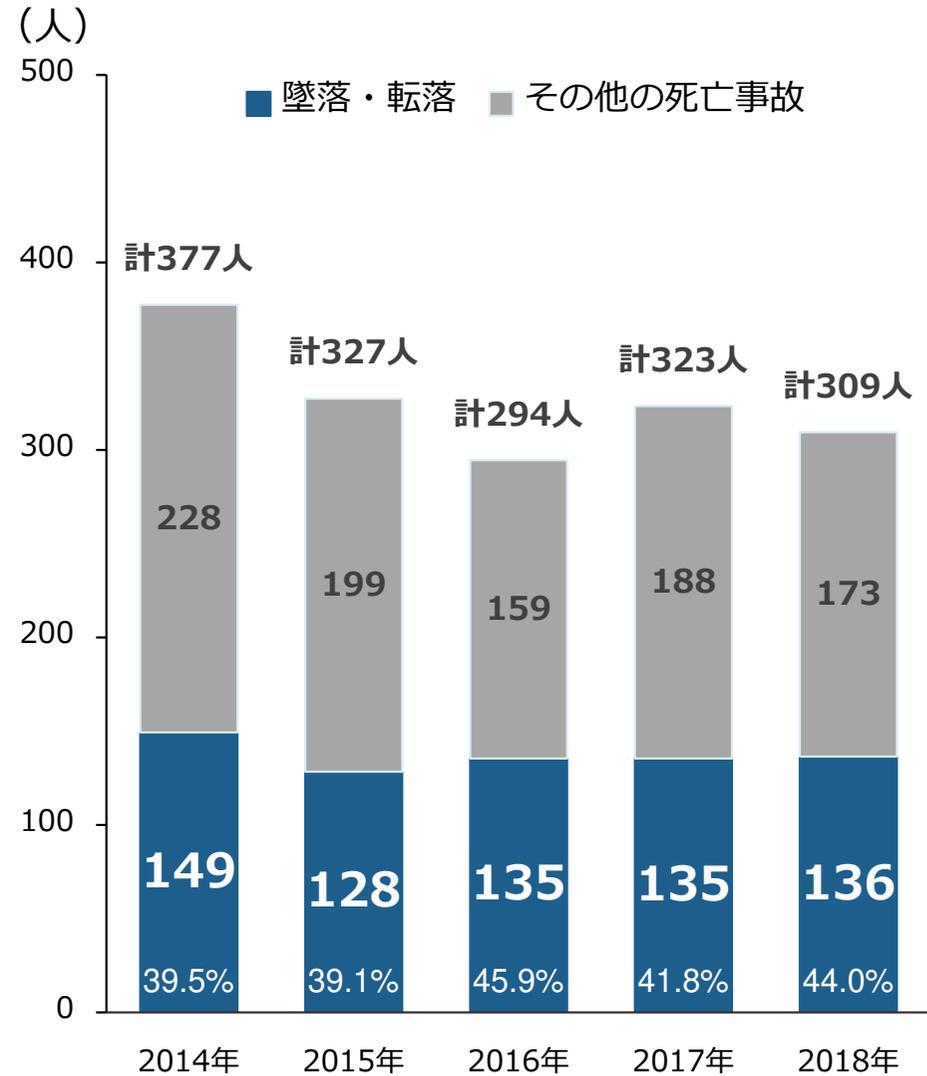
墜落・転落が全体の4割を占める

人の墜落・転落による事故



資材の落下による事故

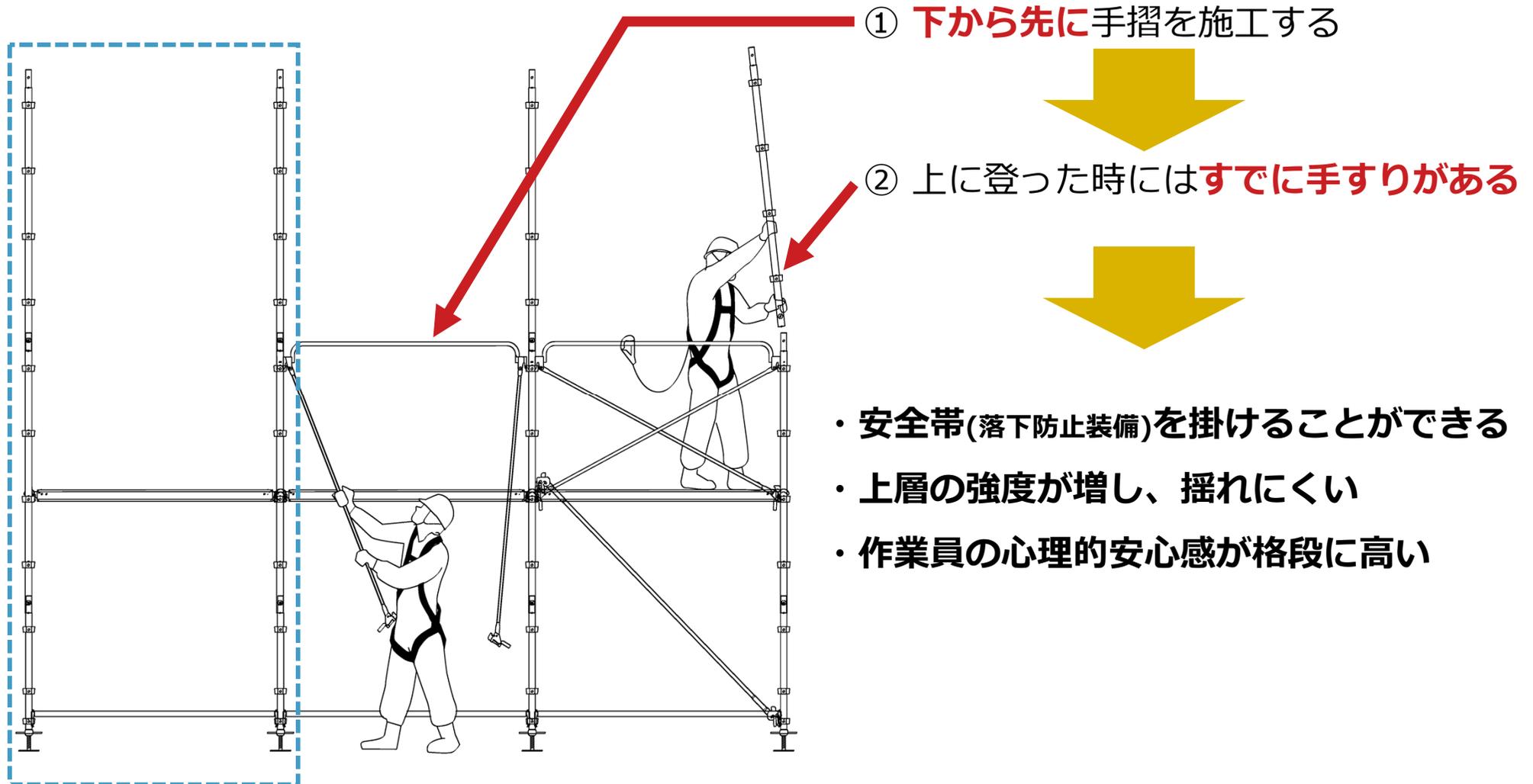
建築業の災害死亡者数



【出典】建設業労働災害防止協会

人の転落・墜落への対策 手すり先行工法

“手すり”を“先行”して施工することで、落下事故を未然に防ぐ



資材の落下による事故への対策

幅木を設置することで足元を守り、人や資材の落下を防止

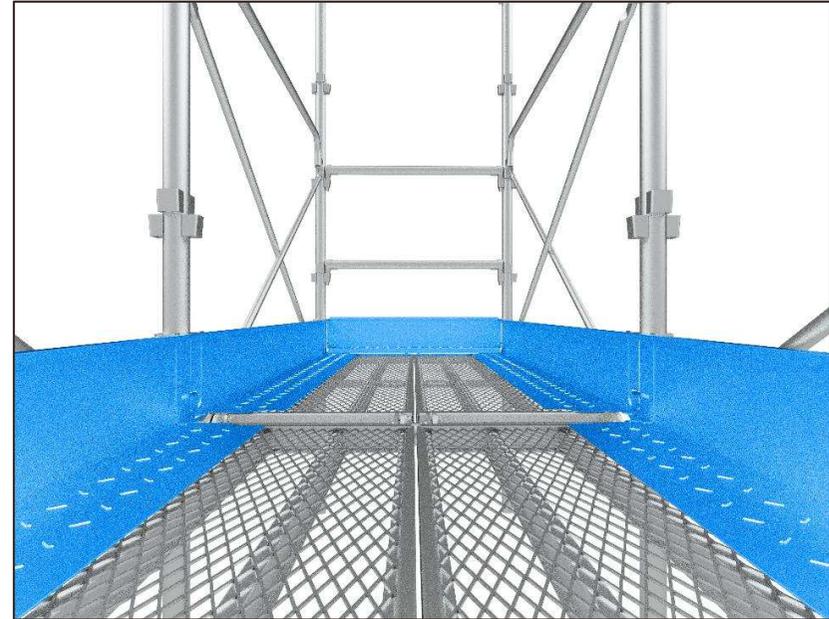
足場の開口部からの落下



建設資材の落下



【出典】建設業労働災害防止協会



幅木設置のメリット

- ✓ 人の転落や墜落防止
- ✓ 資材の落下事故防止
- ✓ 作業者の心理的不安を解消

国内屈指の生産力と 競争力の強い製造原価

国内屈指の生産力



10トントラック

約 **2,700** 台分
(2020年度)

溶接ロボット数

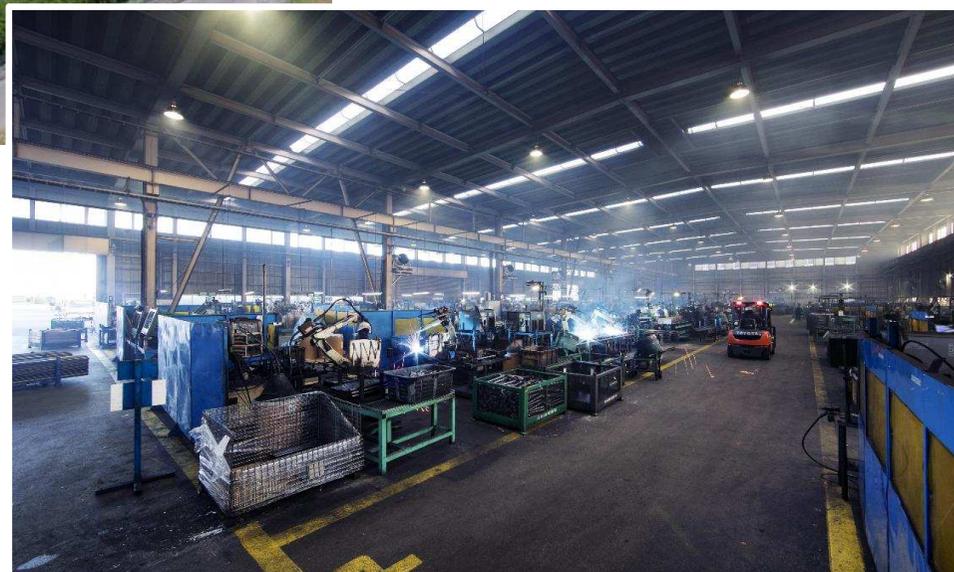
136 台
(2021年4月末現在)

敷地面積 40,642m²

多品種対応、スピードで立ち上げ
国内屈指の生産能力を誇る

原材料の調達コスト
や外注コストを低減

顧客の受注に
柔軟に対応

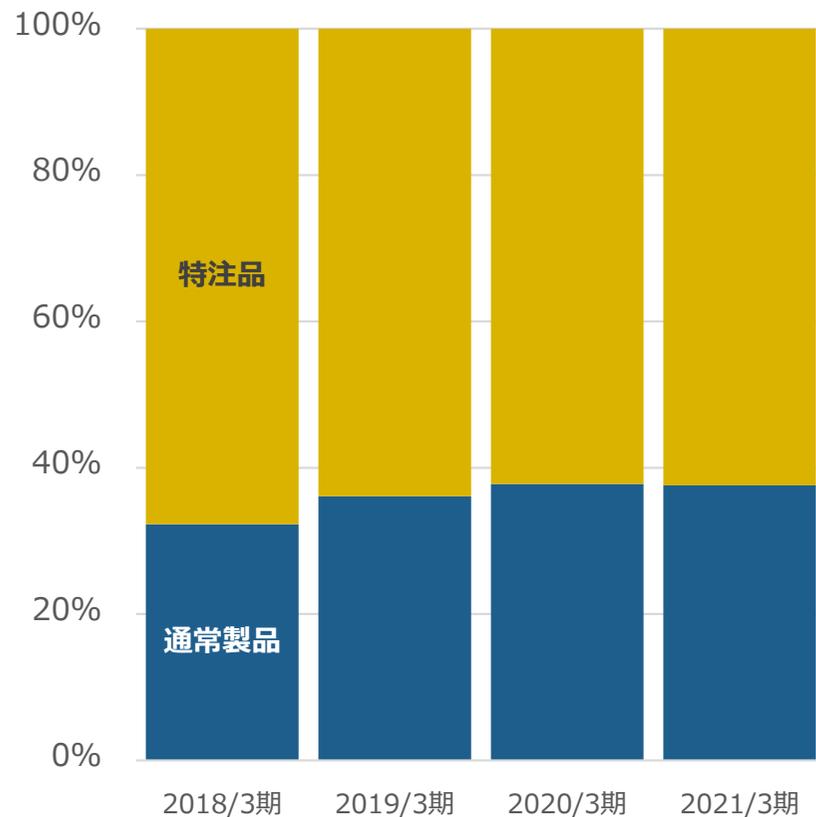


競争力の高い製造原価

顧客の様々な要望にフレキシブルに応える対応力の高さ、そして工場の立地を活かした製造原価の低減構造で高い競争力を実現

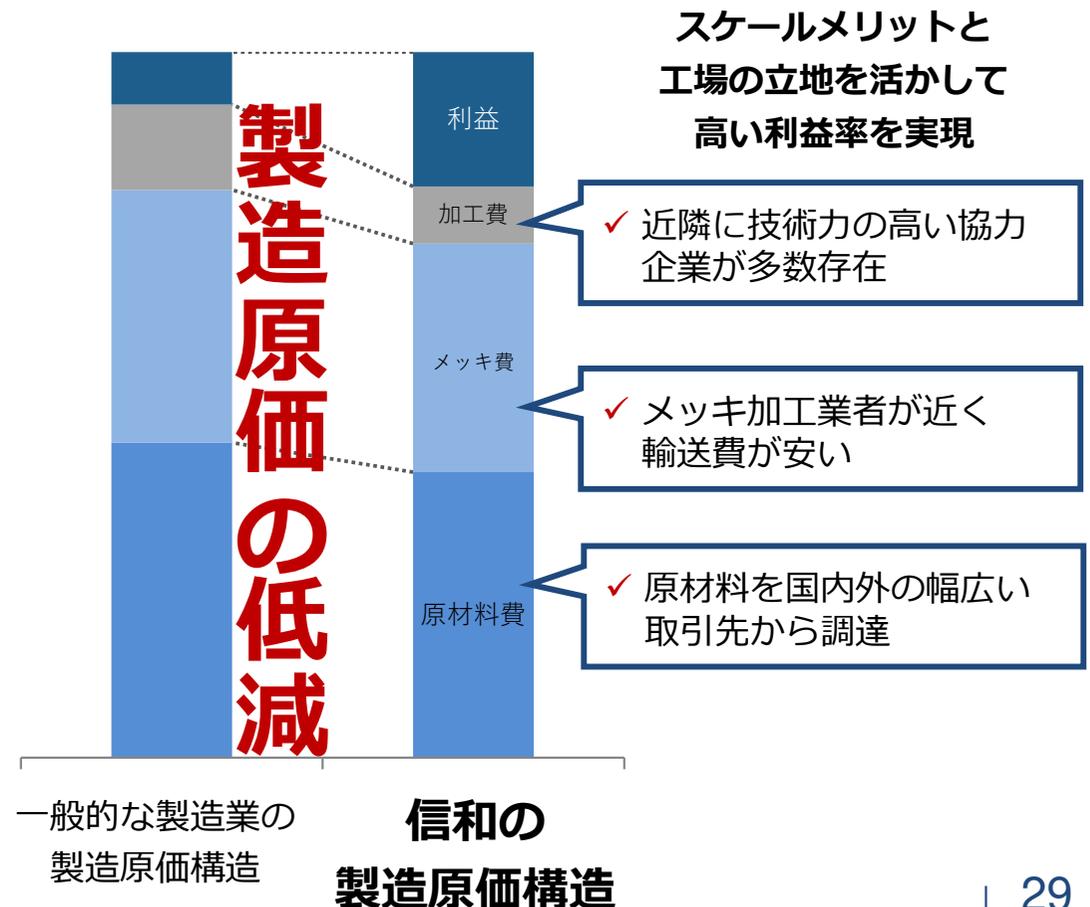
生産品目数に占める特注品の割合

利益率の高い特注品と生産効率の良いレギュラー品のベストミックスを実現



製造原価の低減構造

国内屈指の生産能力を活かして製造原価を低減



第2の柱 物流機器部門

物流機器とは

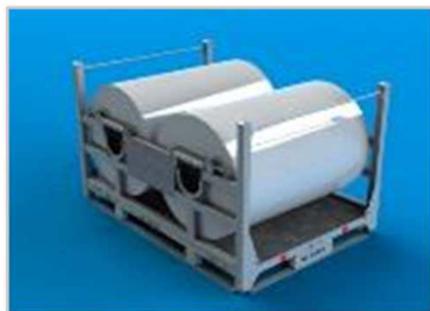
物流機器とは、特定の形状を持つ製品ではない
あらゆる産業の「運搬・収納」ニーズに応える、オーダーメイド製品群

産業特性・ニーズに合わせた専用設計 | 幅広いタッチポイントを誇る

自動車エンジンを
海外工場まで安全に
輸送したい



ロール状のフィルムを
効率よく運搬・
保管したい



樹脂製の容器を
省スペース・軽量で
補強したい



【自動車】エンジン・トランスミッション搬送パレット



【化学】液体搬送用バルクコンテナ

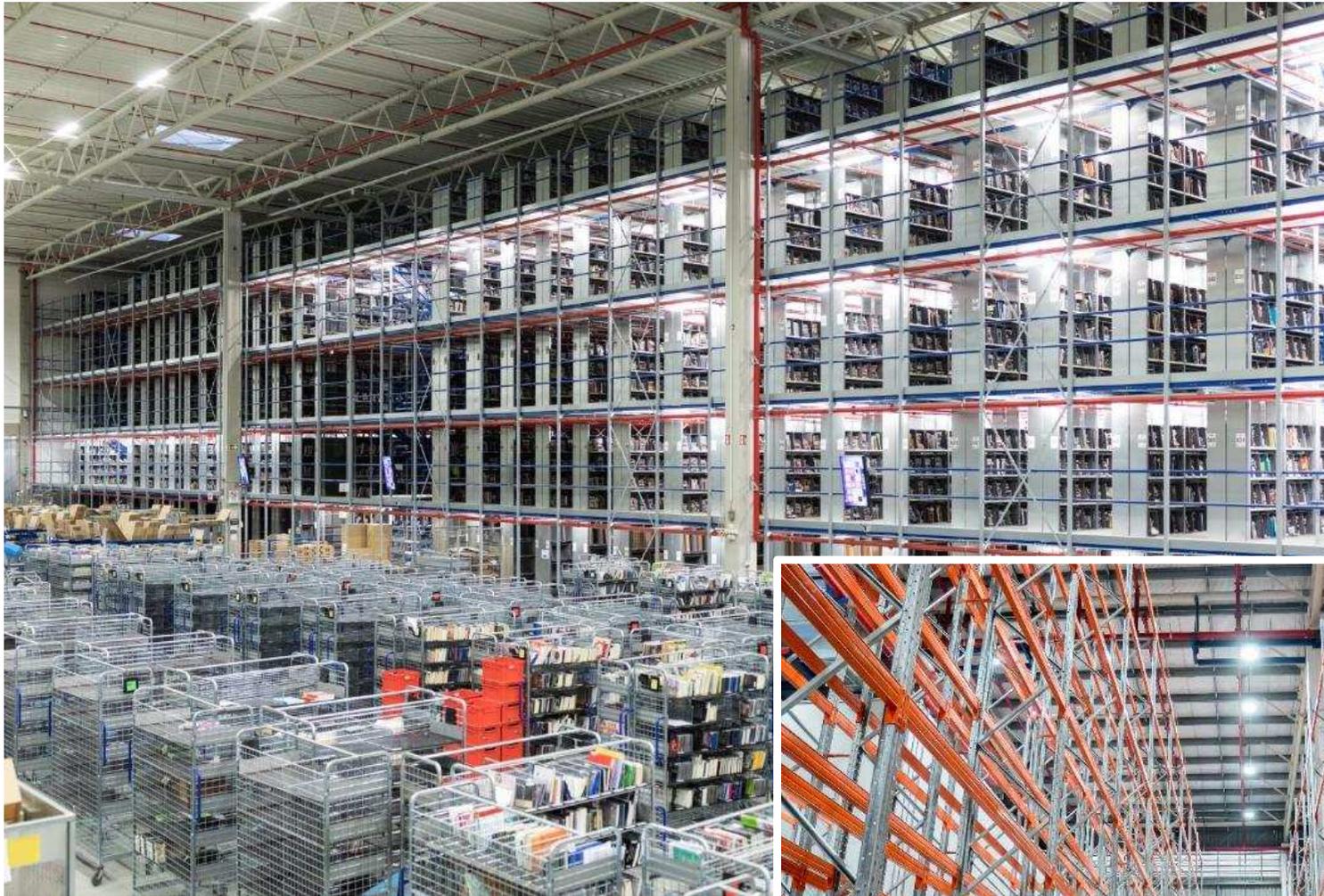


(イメージ)



ドラム缶4本分のスペースに
ドラム缶5本分の容量を充填可能

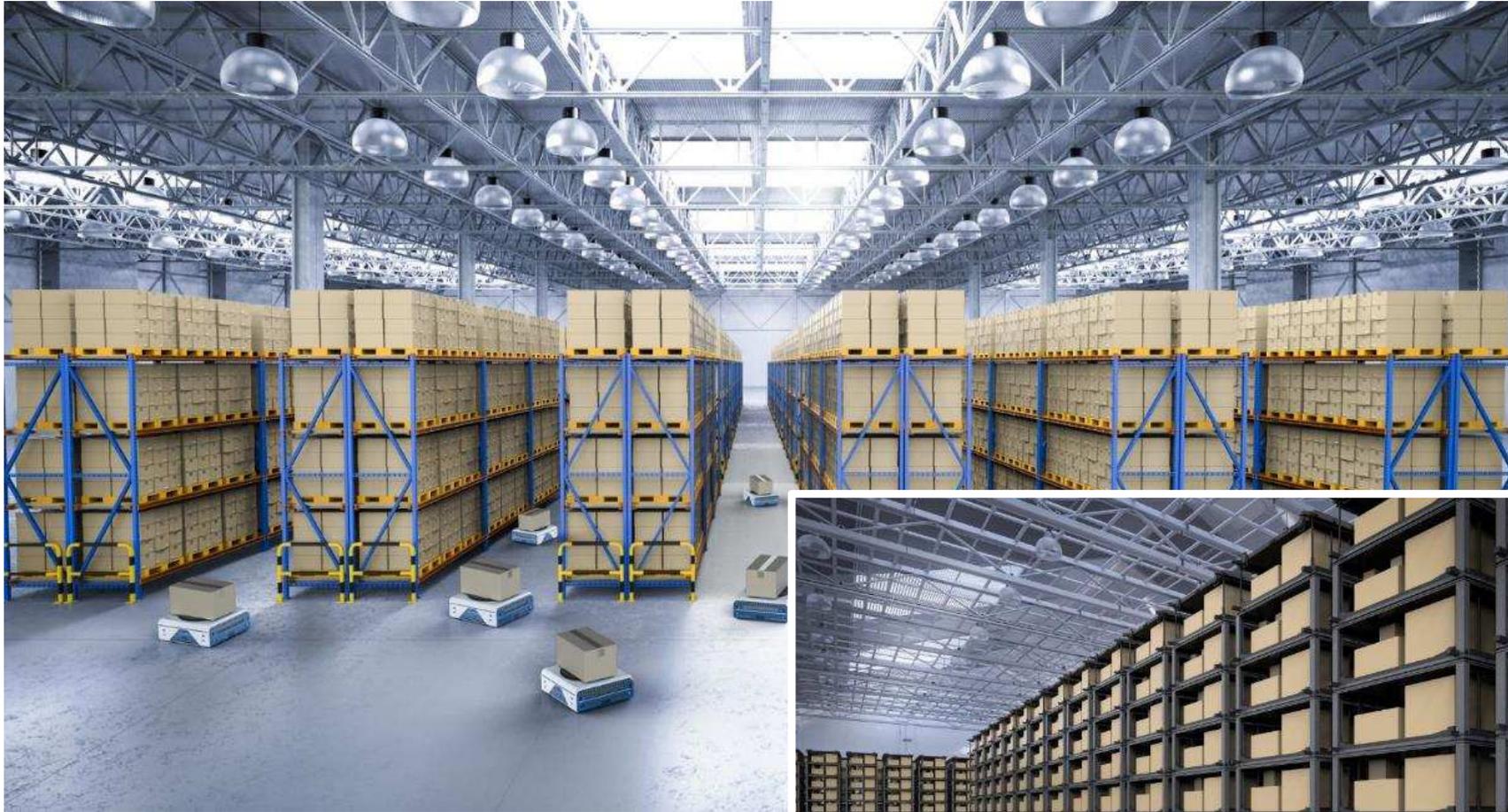
【物流・倉庫】Eコマース企業向け倉庫用ラック



(イメージ)



物流機器の設営から設置まで



(イメージ)



第3の柱 海外展開

海外展開 – これまでの取り組み



中国

- 2019年11月に合併会社設立
- 中国国内のマーケティング調査を経て、2020年中国の建築基準に適合した足場を製造・販売



※ フィリピン駐在員事務所は
2020年8月に閉鎖

ベトナム

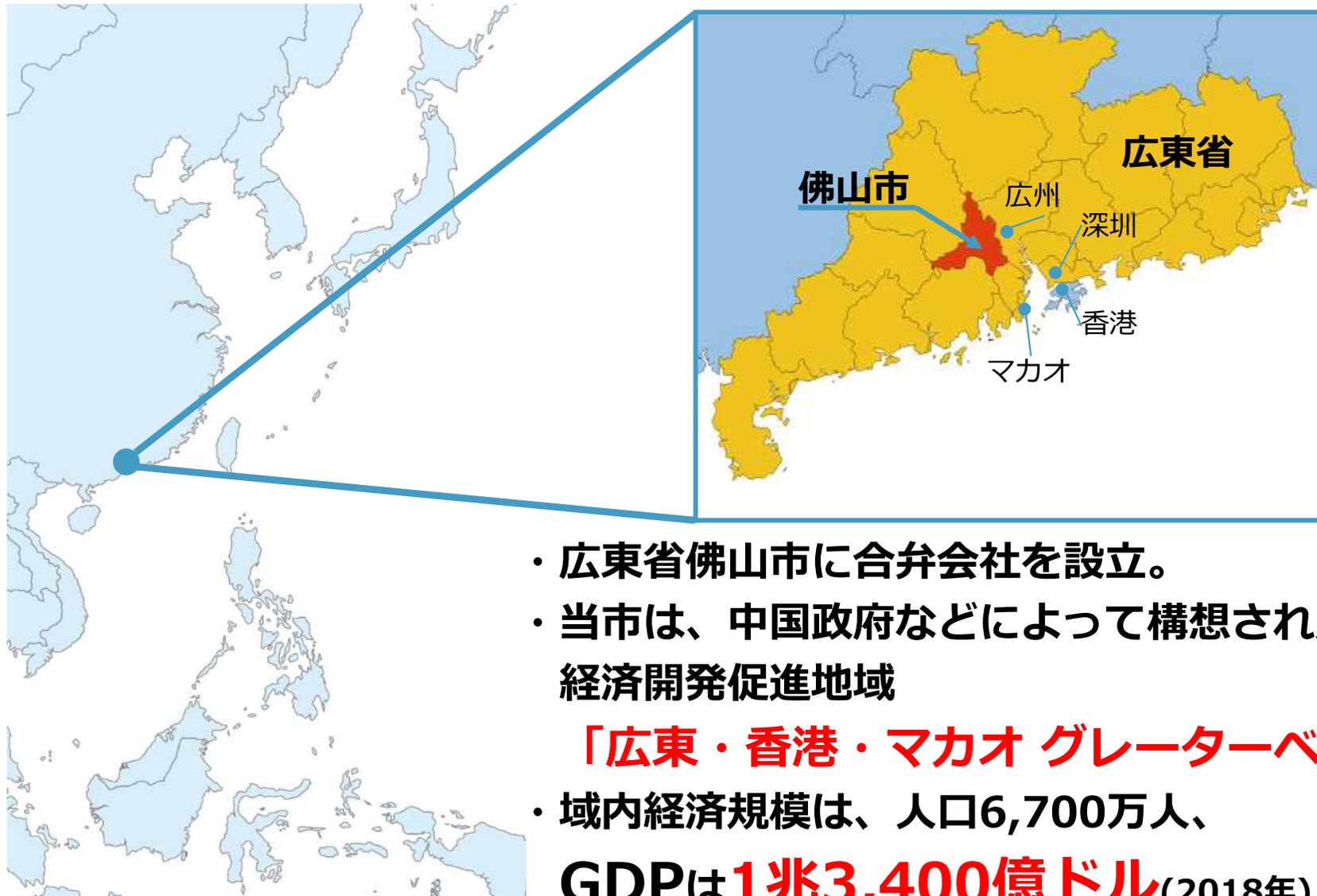
- 2017年10月に協力工場を立ち上げ
- 日本基準・日本品質のシステム足場の製造開始



**施工性・耐久性・安全性に優れた製品の
販売・レンタル事業の拡大に向けて体制を強化**

海外展開－合併会社の設立

2019年11月、合併会社【**広東日信創富建築新材料有限公司**】設立



- ・ 広東省佛山市に合併会社を設立。
- ・ 当市は、中国政府などによって構想された経済開発促進地域

「広東・香港・マカオ グレーターベイエリア」

- ・ 域内経済規模は、人口6,700万人、**GDPは1兆3,400億ドル**(2018年)と、中国国内で最も発展しているエリアのひとつ。

中国合弁会社の概要

商号	広東日信創富建築新材料有限公司	登録資本金	2,500万人民元 (円換算額：約4億円)	
代表者	則武 栗夫 (当社 代表取締役社長)	株主者 及び 出資比率		
所在地	広東省佛山市		信和株式会社	51.0%
設立年月日	2019年11月5日		広東創富金属製造有限公司	34.0%
事業内容	建設用仮設資材の輸入・製造・販売		アルコニックス株式会社	15.0%



『私たちは製品・サービスを通じて大切な命を守ります』
この理念を、海外でも展開していく

| Chapter 07 |

2022年3月期 第2四半期 決算概要

SHINWA CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期決算ハイライト

売上収益

8,231百万円（前年同期比+29.0%）

建設業界における民需の持ち直し、企業活動回復に伴う輸送用機器及び大型倉庫関連の需要の高まりなどにより、前年同期比29.0%増

売上
総利益

2,163百万円（前年同期比+33.5%）

安全措置資材など高付加価値製品の需要が継続しつつ、仮設資材の販売が回復したことに加え、大型物流倉庫関連案件が貢献。売上総利益率は、前年同期比0.9ポイント改善し26.3%

営業利益

1,252百万円（前年同期比+68.1%）

固定費の削減、新規投資案件の見直し等、あらゆる手段を通じたコスト削減・支出抑制に取り組む。営業利益率は前年同期比3.5pt改善し15.2%

四半期
利益(※)

846百万円（前年同期比+74.9%）

四半期利益率、前年同期比2.7pt改善し10.3%

※親会社の所有者に帰属する四半期利益
四半期利益率(%) = 親会社株主に帰属する四半期利益 ÷ 売上収益 × 100

トピックス

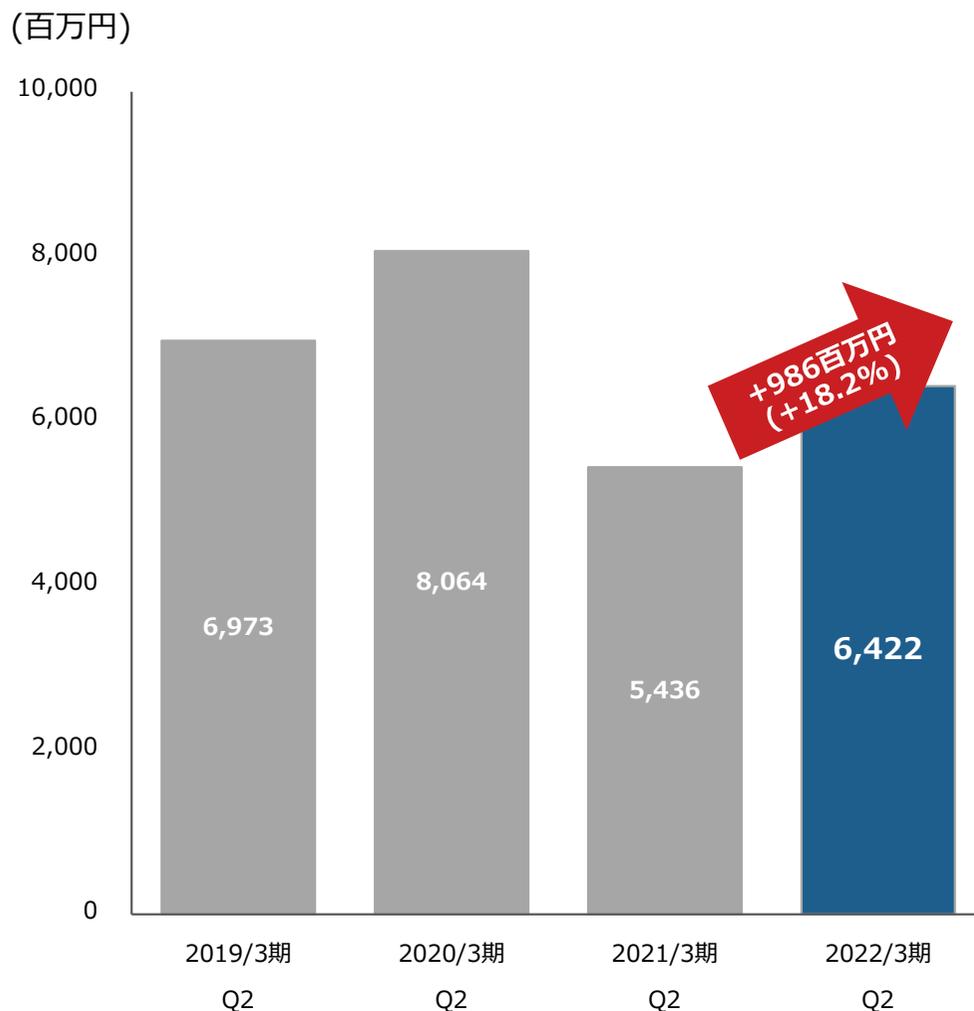
- 2021年5月14日～28日 自社株買いを実施
- 2021年11月8日 通期連結業績予想及び配当予想の修正を発表

2022年3月期 第2四半期 連結業績

	2020.3月期 Q2	2021.3月期 Q2	2022.3月期 Q2			
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	期初計画 (売上比)	実績 (売上比)	計画比 増減額 (増減率)	前期比 増減額 (増減率)
売上収益	9,370 (100.0%)	6,381 (100.0%)	7,182 (100.0%)	8,231 (100.0%)	+1,049 (+14.6%)	+1,850 (+29.0%)
仮設資材部門	8,064 (86.1%)	5,436 (85.2%)	5,520 (76.9%)	6,422 (78.0%)	+902 (+16.3%)	+986 (+18.2%)
物流機器部門	1,305 (13.9%)	945 (14.8%)	1,661 (23.1%)	1,808 (22.0%)	+147 (+8.9%)	+863 (+91.4%)
売上総利益	2,307 (24.6%)	1,620 (25.4%)	— (—%)	2,163 (26.3%)	— (—%)	+543 (+33.5%)
販管費	1,084 (11.6%)	908 (14.2%)	— (—%)	920 (11.2%)	— (—%)	+11 (+1.3%)
営業利益	1,222 (13.0%)	745 (11.7%)	799 (11.1%)	1,252 (15.2%)	+453 (+56.7%)	+507 (+68.1%)
親会社に帰属する 四半期純利益	814 (8.7%)	483 (7.6%)	521 (7.3%)	846 (10.3%)	+325 (+62.4%)	+362 (+74.9%)

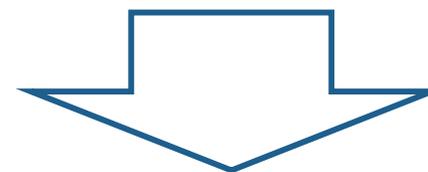
部門別の状況／仮設資材部門

売上収益の推移



当第2四半期連結累計期間の状況

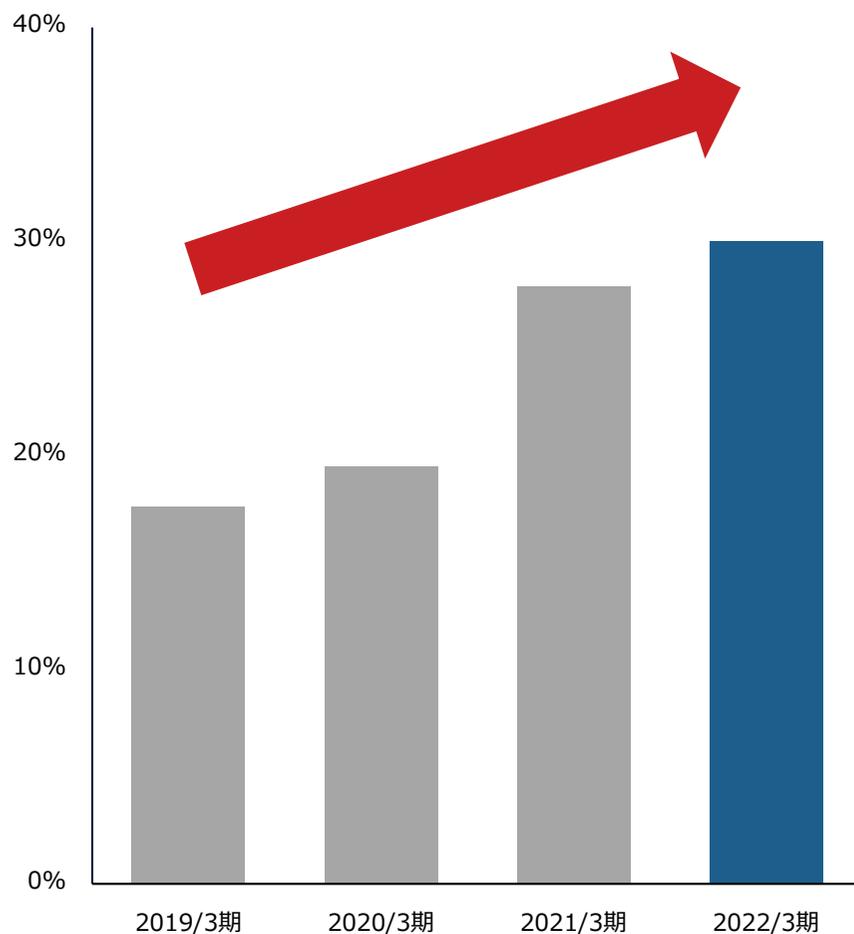
- 建設業界において、民需を中心とした持ち直しの動きが見られた。
- システム足場がけん引役となり 売上収益が堅調に推移した。



売上収益6,422百万円。
前年同期比18.2%増となり、前年を上回る結果となる。

安全措置資材の拡大

売上収益に占める安全措置資材の割合



※ 当社製品キャッチャーAに占める割合

先行手摺の状況

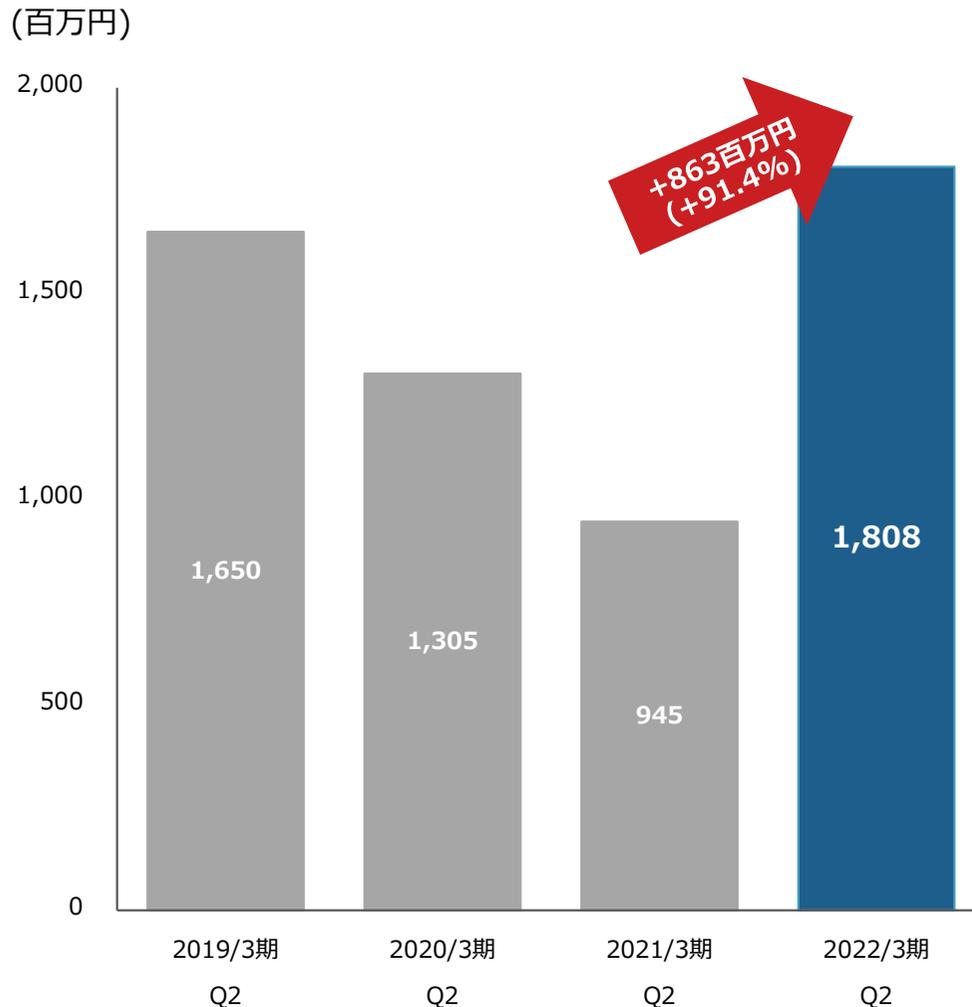
- 建築工事現場における安全性重視の傾向は引き続き堅調に推移。
- システム足場などにおいては、安全措置機材の採用比率が上昇を続けている。



**国内シェア40%を
獲得**

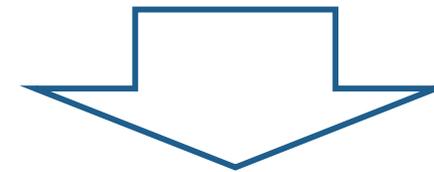
部門別の状況／物流機器部門

売上収益の推移



当第2四半期連結累計期間の状況

- 経済及び企業活動の回復に伴い、輸送用機器及び大型倉庫関連の需要が高まったことから売上収益は大きく増加
- リピート案件の伸長や新規案件などを獲得

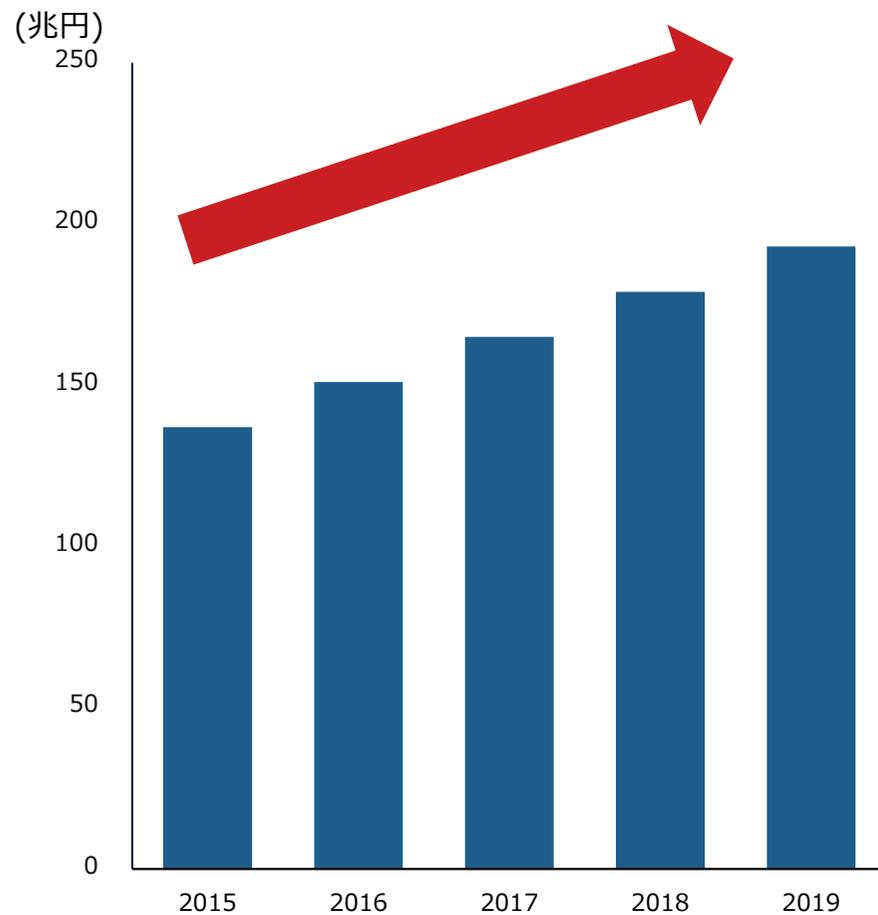


**売上収益1,808百万円。
前年同期比91.4%増となり前年の業績を大きく上回る結果となった。**

EC市場規模と倉庫・物流施設工事受注額の推移

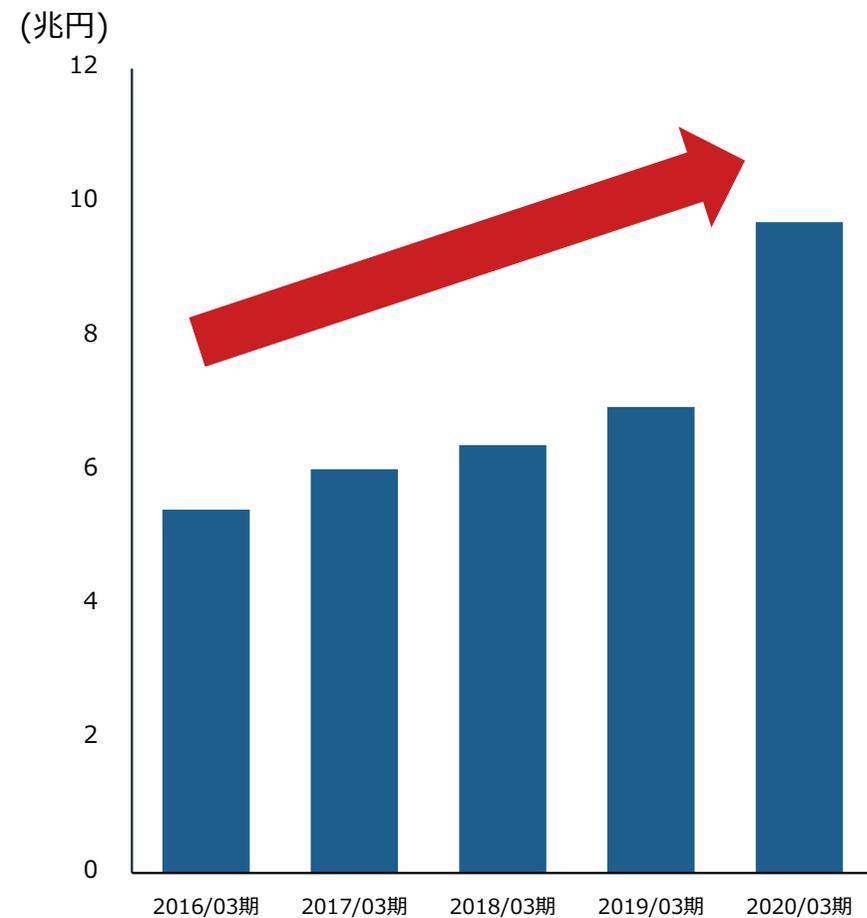
EC市場規模の拡大に伴い、倉庫・物流施設の工事受注額の拡大が続く。

EC市場規模の推移



出典：経済産業省「電子商取引に関する市場調査」

倉庫・物流施設工事受注額の推移

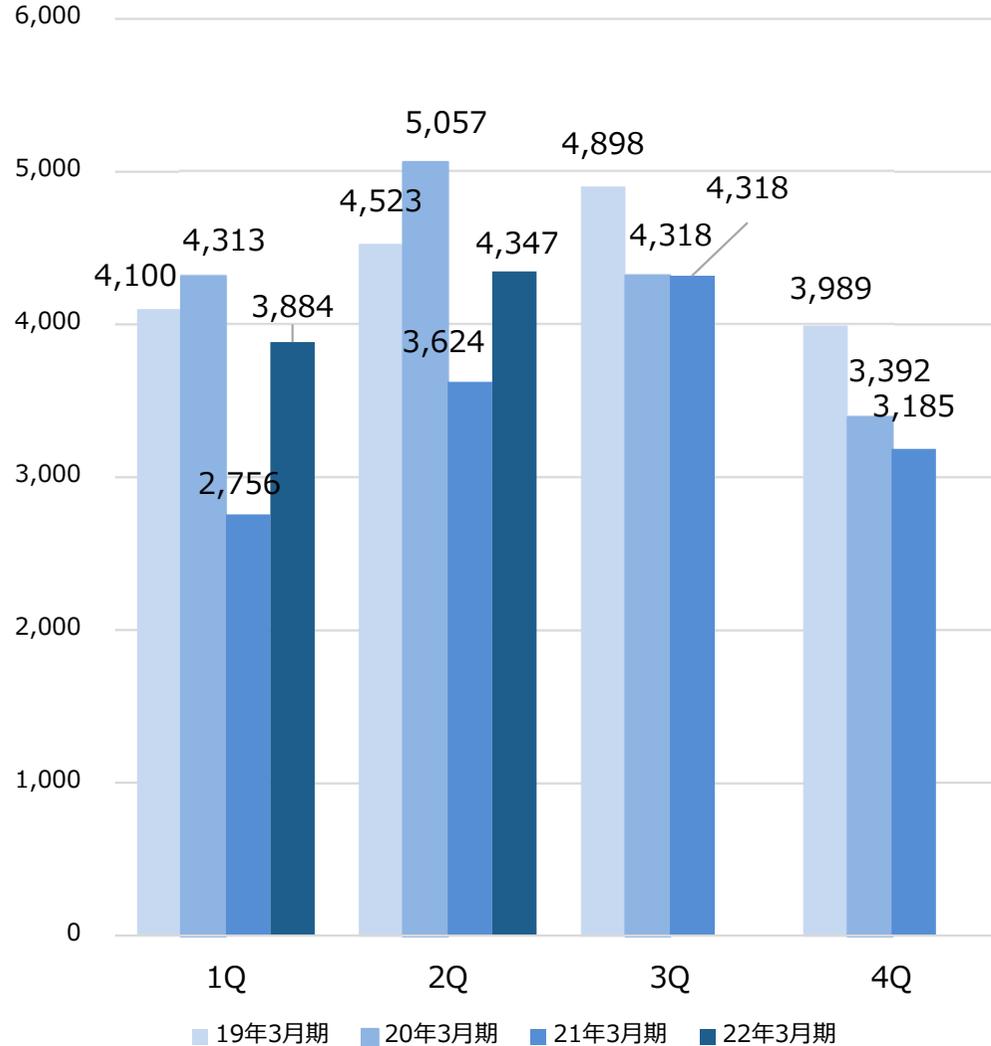


出典：国土交通省「建設工事受注動態統計調査（大手50社調査）」

2022年3月期 四半期毎推移

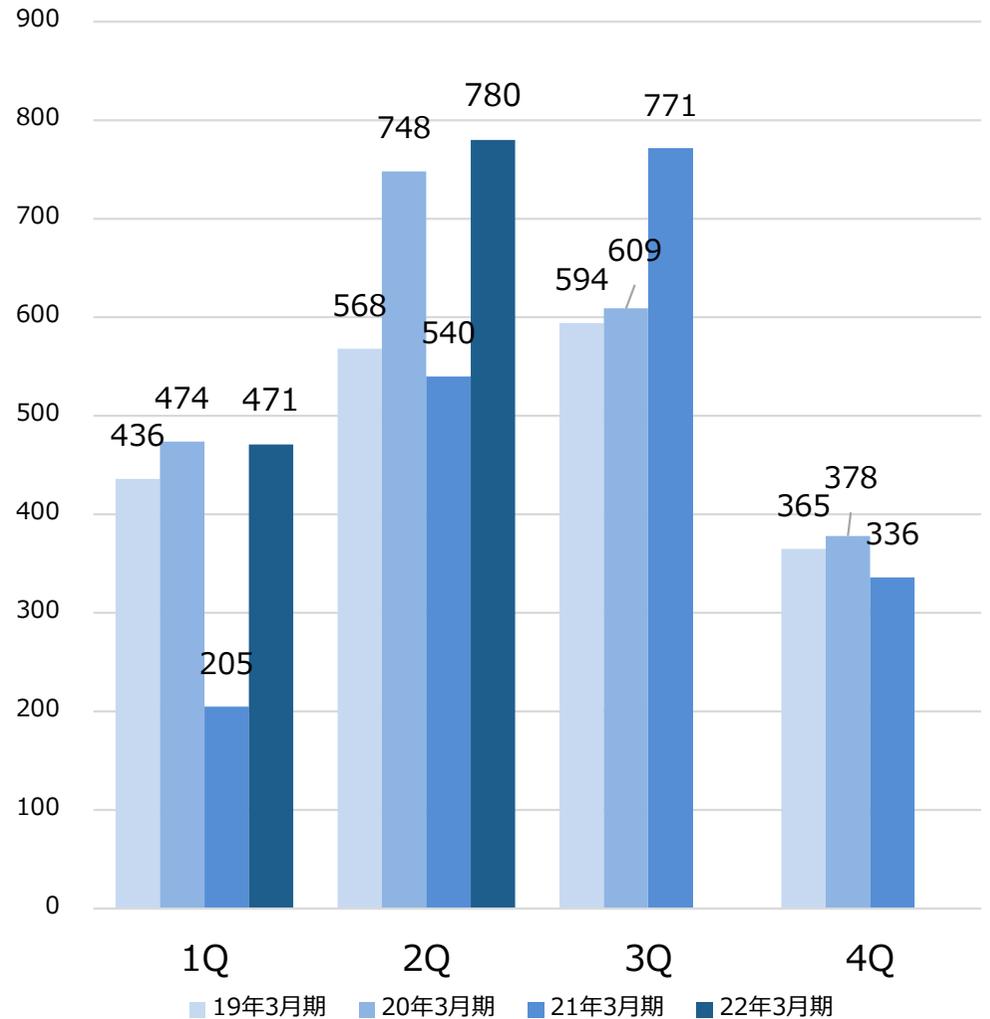
四半期毎売上収益

(百万円)



四半期毎営業利益

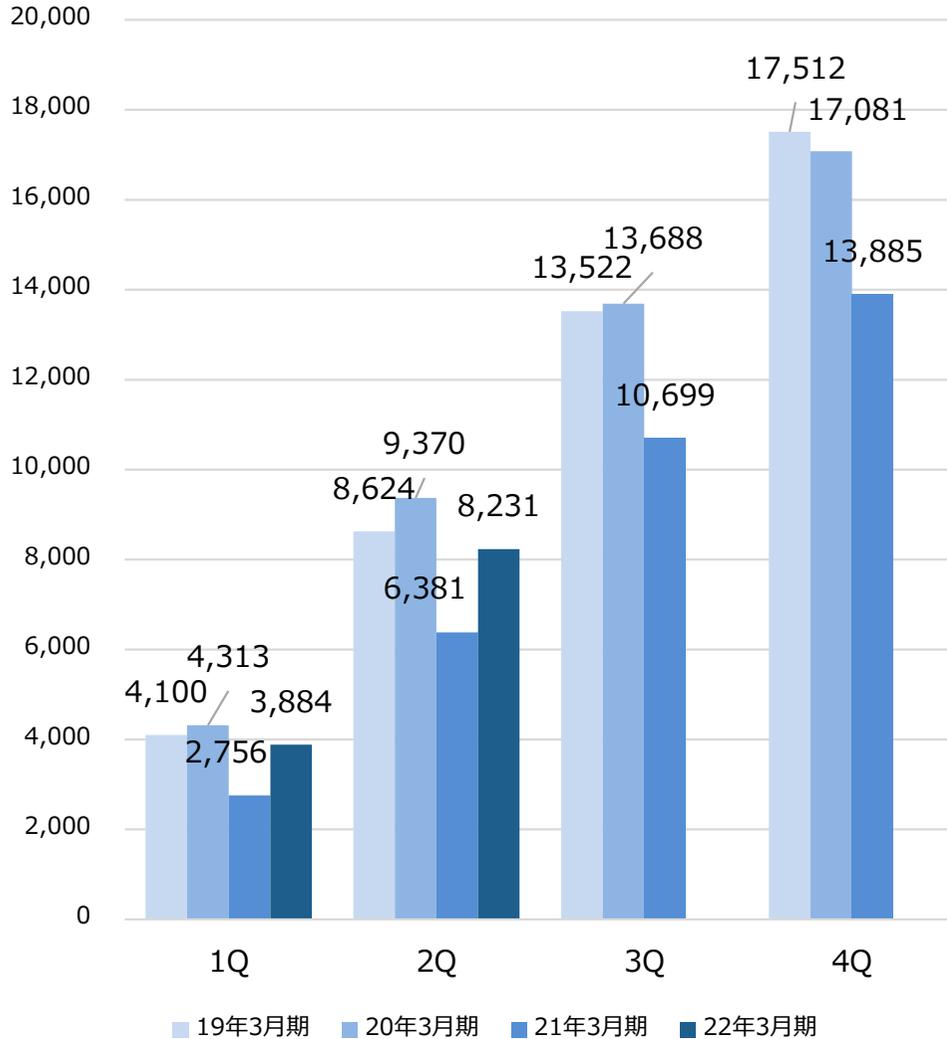
(百万円)



2022年3月期 四半期累計推移

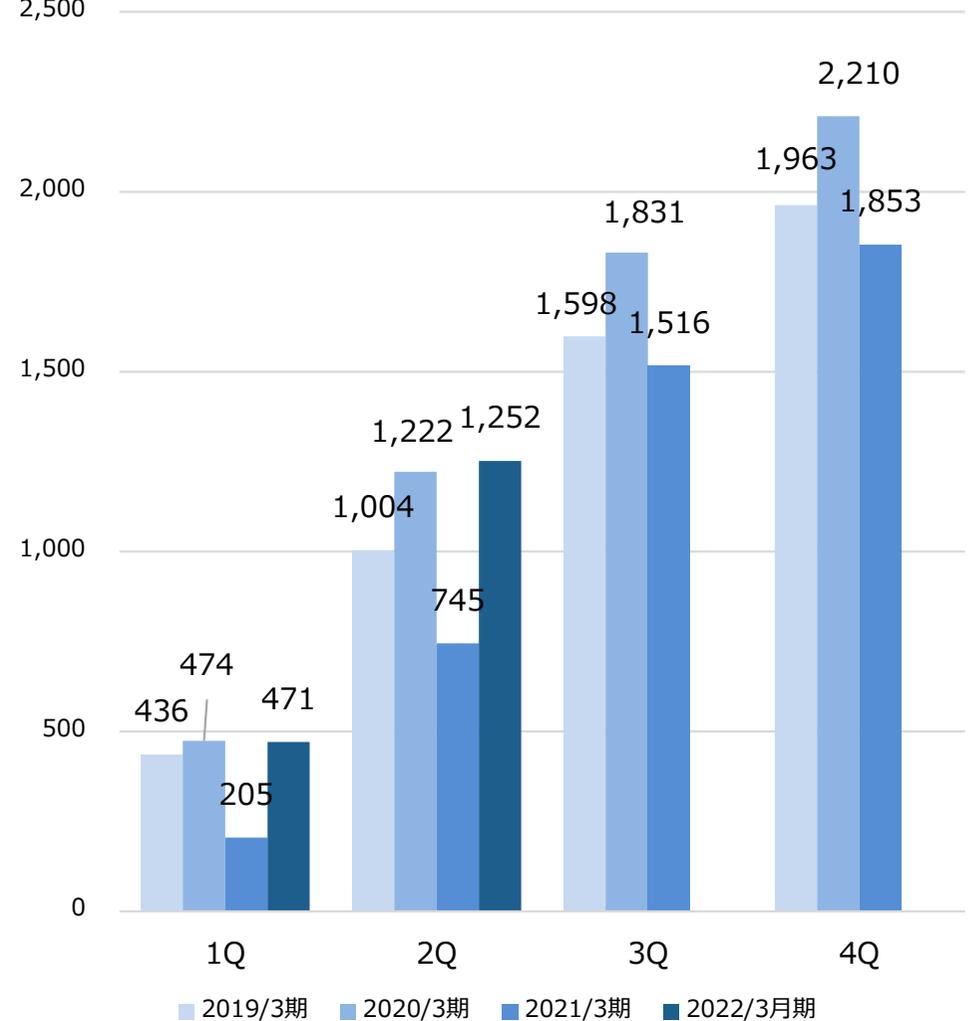
四半期累計売上収益

(百万円)

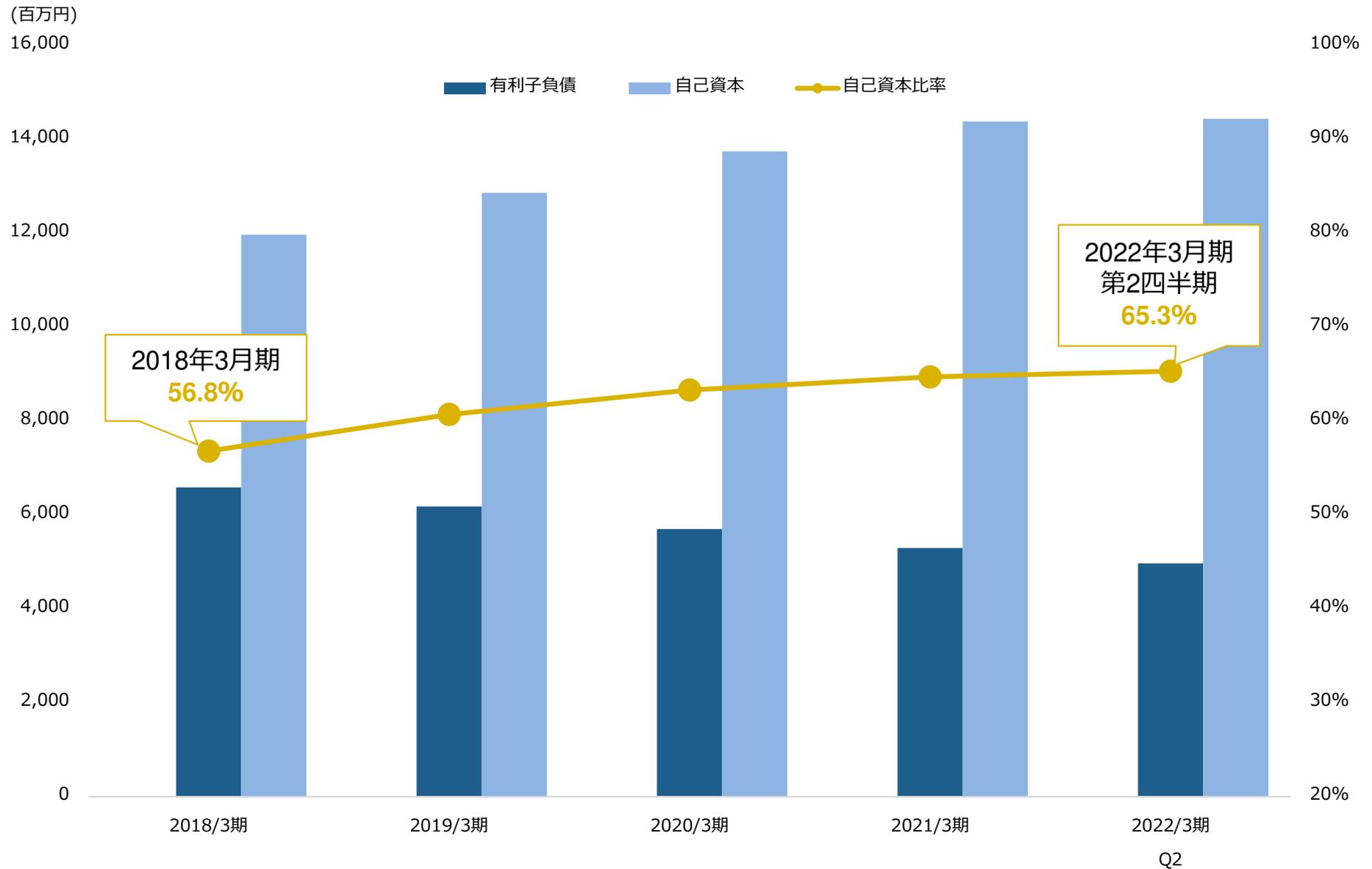


四半期累計営業利益

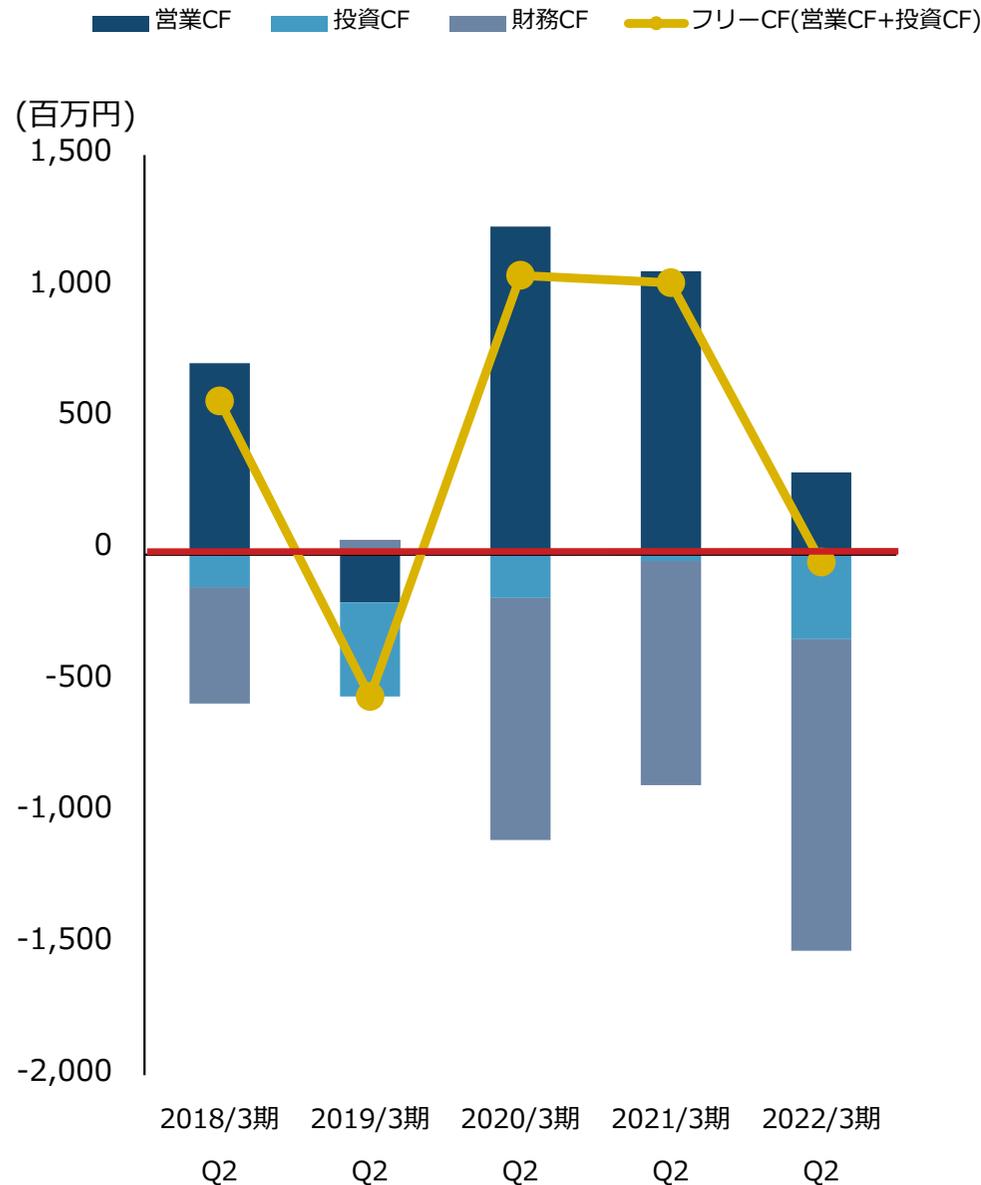
(百万円)



充実した自己資本



キャッシュ・フロー計算書増減要因



営業キャッシュフロー

(百万円)
293

税金等調整前四半期利益	1,217
減価償却費	279
棚卸資産の増加	△368
営業債権及びその他の債権の増加	△654
営業債務及びその他の債務の増加	488
法人税等の支払額	△598

投資キャッシュフロー

△342

有形固定資産の取得による支出	△343
----------------	------

財務キャッシュフロー

△1,185

長期借入金の返済による支出	△250
配当金の支出	△497
自己株式の取得による支出	△299

| Chapter 08 |

2022年3月期 業績見通し

SHINWA CO.,LTD.

2022年3月期 期末 連結業績

売上収益は、第3四半期以降も堅調に推移する見通し。
利益は当社製品の主要な原材料である鋼材価格の高騰が期初想定を上回ること等を勘案。

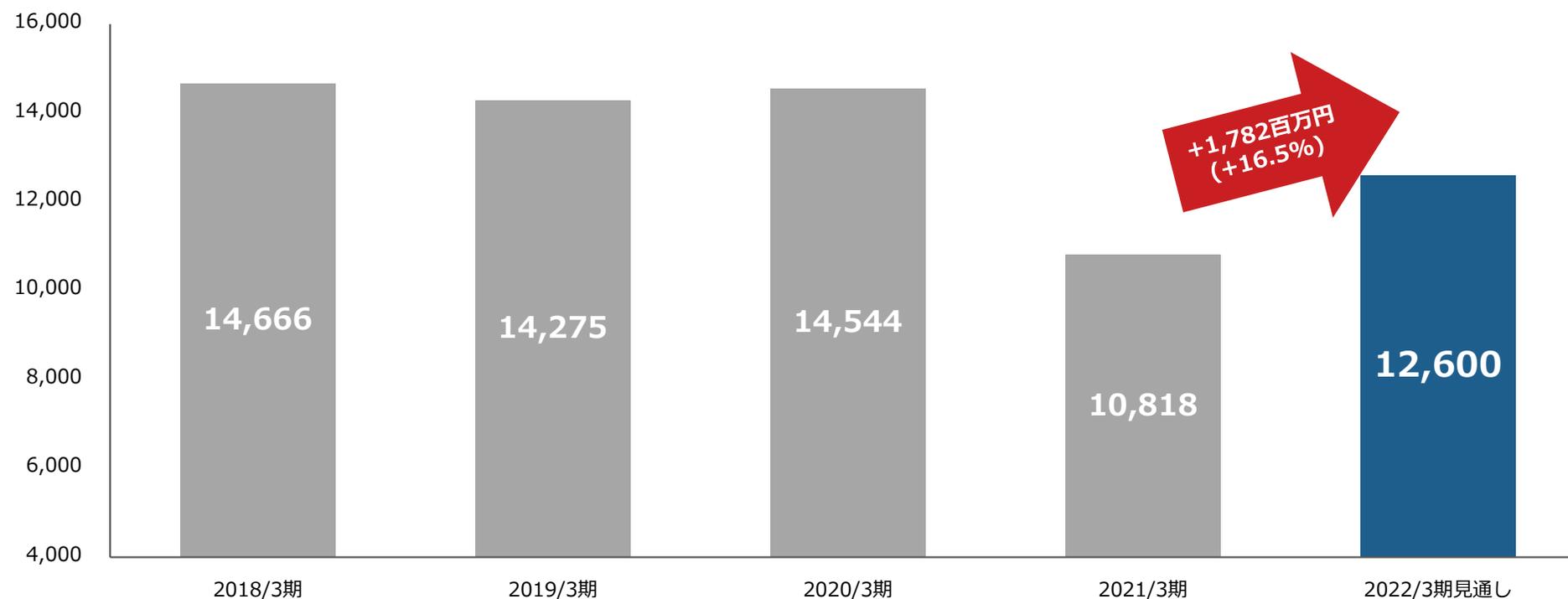
	2020.3月期	2021.3月期	2022.3月期			
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	期初計画 (売上比)	修正計画 (売上比)	計画比 増減額 (増減率)	前期比 増減額 (増減率)
売上収益	17,081 (100.0%)	13,885 (100.0%)	15,000 (100.0%)	16,000 (100.0%)	+1,000 (+6.7%)	+2,114 (+15.2%)
営業利益	2,210 (12.9%)	1,853 (13.3%)	1,700 (11.3%)	2,050 (12.8%)	+350 (20.6%)	+196 (+10.6%)
税引前利益	2,139 (12.5%)	1,784 (12.8%)	1,629 (10.9%)	1,977 (12.4%)	+348 (+21.4%)	+192 (+10.8%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,467 (8.6%)	1,231 (8.9%)	1,128 (7.5%)	1,372 (8.6%)	+244 (+21.6%)	+140 (+11.4%)
基本的1株当たり 当期利益(円)	104.85	87.42	80.00	100.00	-	-
1株当たり 期末配当金 (円)	44.0	35.0	32.0	40.0	+8.0	+5.0

業績見通し／仮設資材部門

くさび緊結式足場及び次世代足場は下期以降も堅調に推移するものの、原材料価格高騰の影響は今後も続くものと想定。製品の販売価格見直し等、収益性の維持に努める。

売上収益の見通し

(百万円)

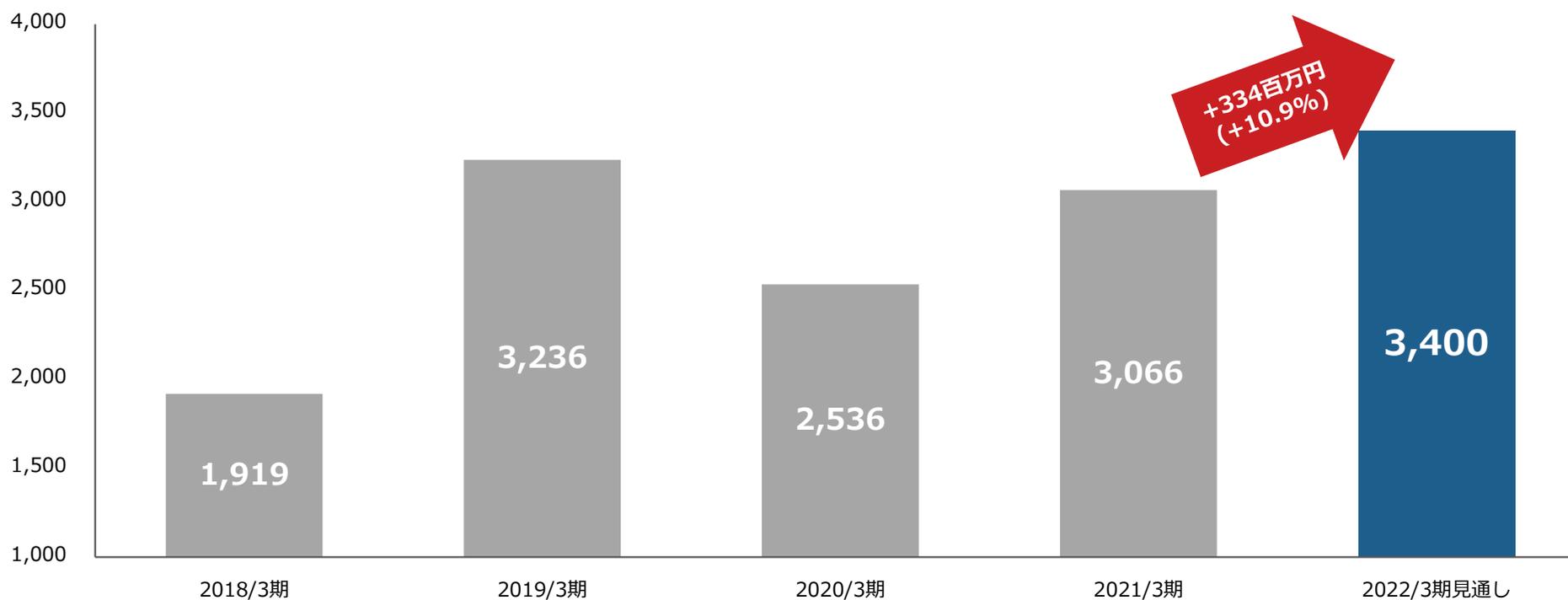


業績見通し／物流機器部門

搬送用バルクコンテナ、物流倉庫向けラックなどは引き続き堅調に推移を見込む。また幅広い分野での新規案件の拡販に努める。

売上収益の見通し

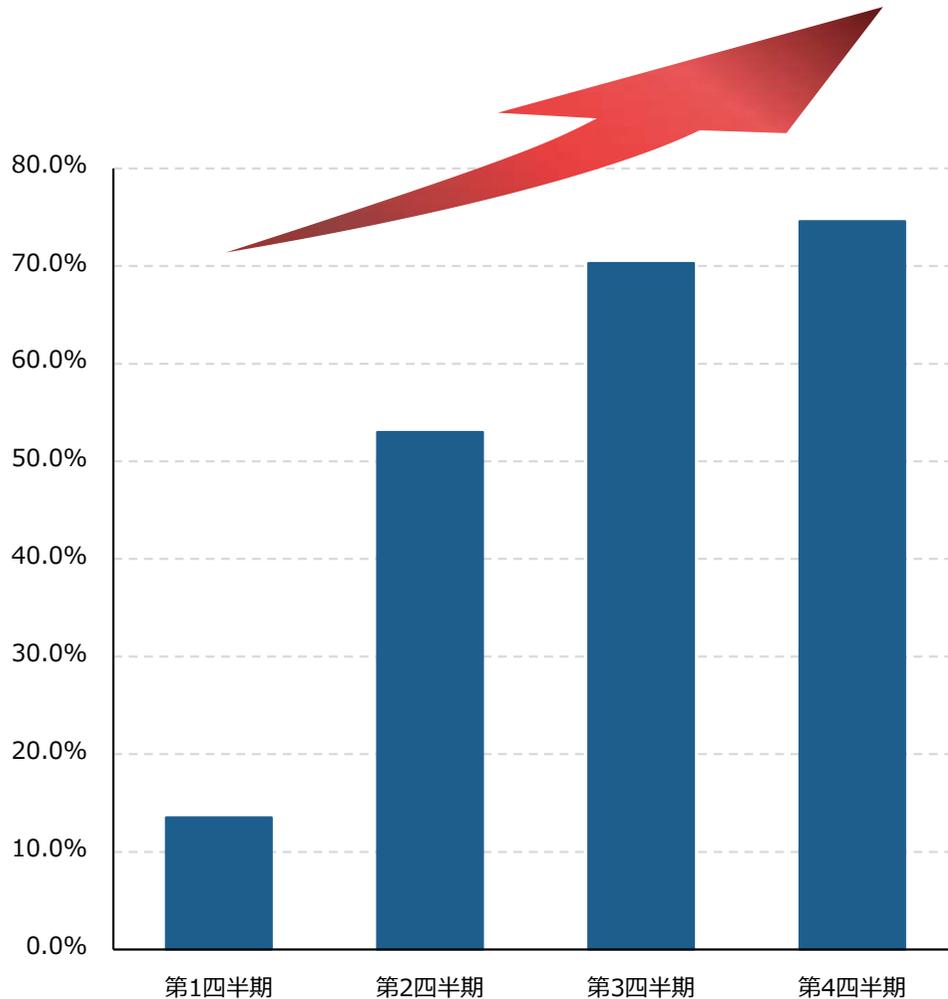
(百万円)



原材料価格の推移見通し

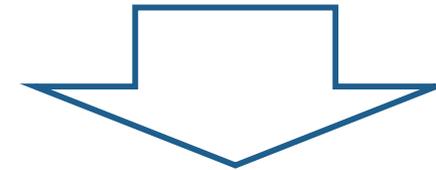
当社製品の主要な原材料である鋼材価格は世界的に急激な高騰の最中。

材料価格の上昇率（イメージ）



価格高騰の背景

- 中国の環境政策による生産量の減少やコロナ禍からの経済回復に伴う旺盛な需要を背景にしたアジア市況の高騰
- 鉄鉱石や原料炭の調達価格の上昇



主原料や副資材の価格が高止まりし
鋼材市場は上昇が続くと想定

| Chapter 09 |

株主還元について

SHINWA CO.,LTD.

株主還元について

当社グループでは、株主の皆様に対する利益還元を経営上重要な課題の1つとして位置付ける。

基本方針

将来における安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために、**必要な内部留保資金を確保しつつ、経営成績に応じた株主への利益還元を行う**

配当性向目標

基本方針のもと、

**配当性向
40%以上**

を目標に実施

2022年3月期予想

2021年11月8日開示の業績予想を踏まえ、

1株当り40円

(配当性向40.0%)

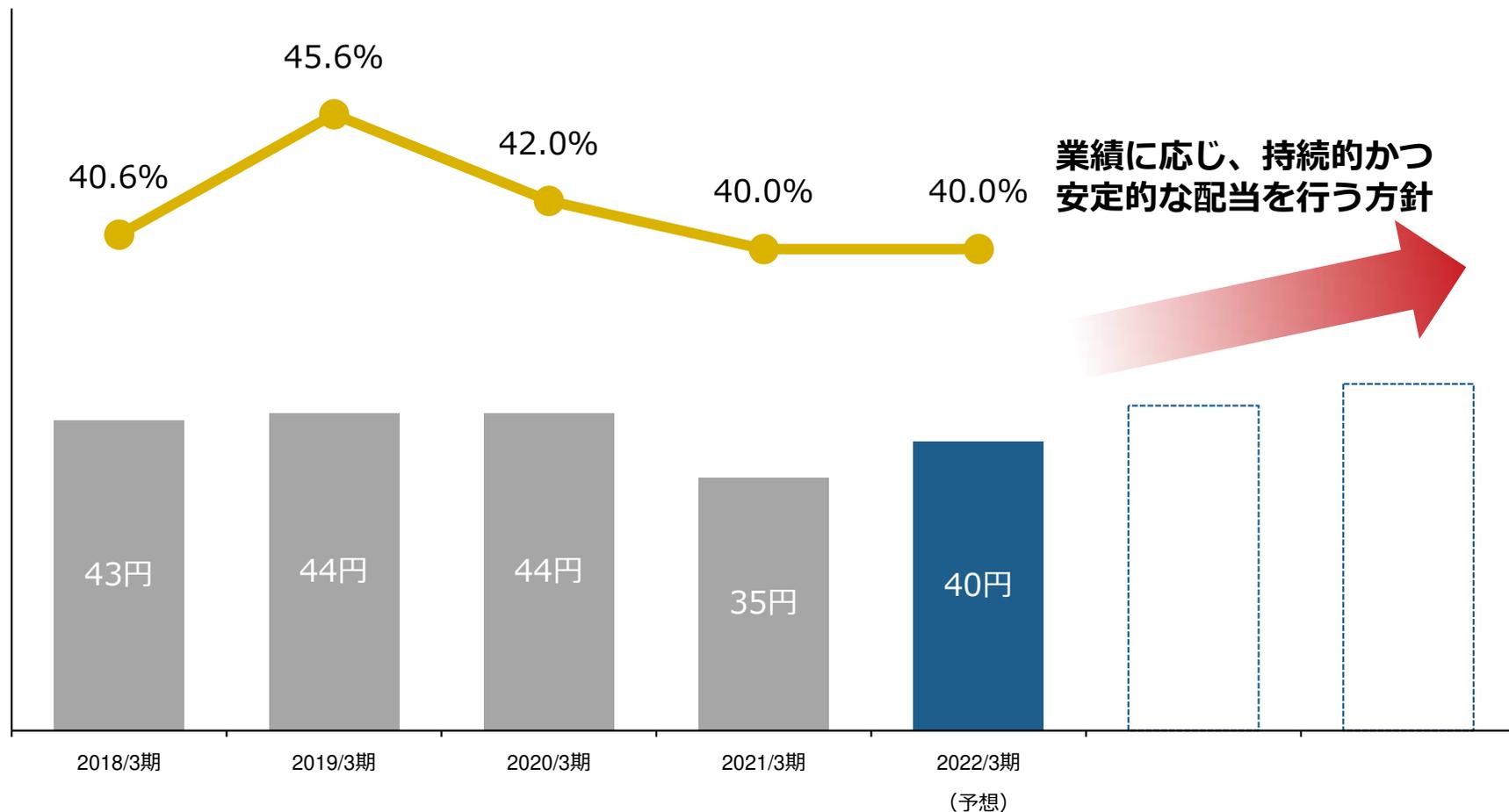
内部留保資金の使途

財務体質の強化を図るとともに、一層の事業拡大を目指すための**設備投資**や**人材育成**など、有効な投資資金として活用し、**企業価値の向上に努める**

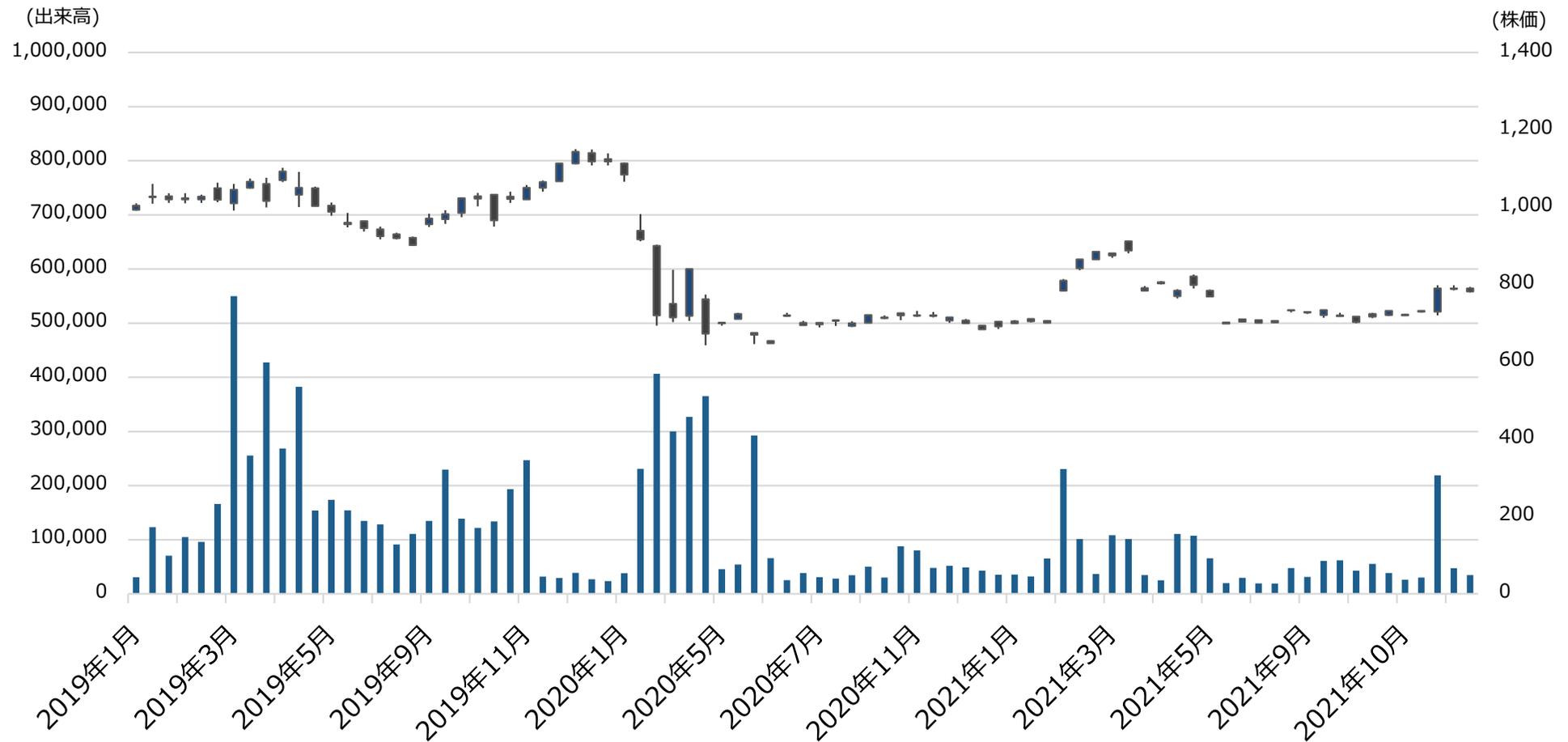
配当実績

2021年3月期は、年間35円/株。

2022年3月期は、8円増配し、年間40円/株（配当性向40.0%）を予定。



株価の状況



配当利回り (実績)

4.1%

(2021年3月31日現在)

純資産倍率 (PBR)

0.75倍

(2021年11月15日現在)

株価収益率 (PER)

7.90倍

(2021年11月15日現在)

注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

 **信和株式会社**

岐阜県海津市平田町仏師川30-7

部 署 — 経営企画部

担 当 — 青木・河合

T E L — 0584-66-4436

e-mail — ir@shinwa-jp.com